

**第19回議会報告会  
議会と語ろう会報告書**

令和4年8月  
西 脇 市 議 会

令和4年5月に開催しました第19回議会と語ろう会は、コロナ禍により3年ぶりの開催となりました。久しぶりの開催にも関わらず、各自治会の皆さんの御協力の下、多くの方々に御参加いただきましたことに対し感謝申し上げます。

昨年秋の改選で7人の新しい議員が生まれ、今回初めて議会と語ろう会に議員として参加しました。戸惑うこともあったと思いますが、入念にシミュレーションをして臨んでいましたので、参加者の皆さんの感想も気になるところです。

議会と語ろう会は、市民の皆さんの多様な意見を議会に反映しようとする取組であるとともに、各地域での様々な課題を議会が知る貴重な機会ともなっています。単に個々の議員活動ではなく、「議会として」地域の課題を理解し、議論しながら課題解決の政策を考えていく、そのような場づくりを目指しています。各会場で出された意見については、班会議や班長会議、さらには常任委員会での議論を通じ、単に質問して市行政の考え方を聞くだけでなく、「議会としてどうするか」を意思決定し、市民の皆さんへ回答するよう心がけています。

ただ、意見がまとまるまでに時間を要するものや、さらなる調査を行わないといけないものもありますので、それは今後報告させていただくことを御了承願います。

市議会は住民代表機関といわれるように、市民の皆さんとともにあります。  
市議会と市民は分離されるものではなく、一体のものでなくてはなりません。

西脇市議会基本条例にも、「議会は、市の意思決定機関であり、行政の監視機関としての責任を果たすとともに、市民の意見を反映した計画、政策、施策、事業等の立案、決定及び評価のために活動しなければならない」とあります。

今後も私たち西脇市議会議員一同は、そのことを胸に活動して参りたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

令和4年8月

西脇市議会議長 林 晴 信

## 第19回議会報告会「議会と語ろう会」報告書作成に当たって

私たち西脇市議会は、年に2回、5月と11月に議会報告会「議会と語ろう会」を開催し、2年間かけて市内すべての80自治会の皆さまのところにお伺いし、議会の活動報告と膝を交えての意見交換会を開催させていただいています。

しかし、コロナ禍で2年間開催を見送っており、今回も感染状況によっては、途中で中止することも考慮しながらの開催となりましたが、開催地区区長様をはじめ、多くの市民の皆さまの御協力・御参加のおかげをもちまして、全日程を無事終了するとともに、オンラインでの報告会も実施することができました。議員一同、心より感謝申し上げます。

報告会で出された意見や提案を持ち帰り、①班ごとにまとめ⇒②班長は担当した自治会のまとめを班長会議に持ち寄り⇒③班長会議では出された課題等を精査し、各常任委員会に分け⇒④各常任委員会では担当課に事業経過や事実確認の調査をし⇒⑤課題の回答や継続して調査が必要なことなどは「議会だより」で報告いたします。以上のように取扱い、それを集約して報告書にまとめました。

また、報告書には参加者の皆さまのアンケート結果や感想も併せて掲載しております。貴重な御意見をありがとうございました。

ぜひ御一読いただきますようお願い申し上げます。

## 第19回議会報告会「議会と語ろう会」 班長会議のまとめと常任委員会における確認・調査

今回の「議会と語ろう会」で出された、市民の皆さまからの意見や提案の中から班長会議で抽出し、総務産業・文教民生常任委員会で担当課に確認・調査し、議論しました。

### <総務産業常任委員会>

#### (1) 人口減少対策について

Q 西脇市の人口減少が懸念される中、高田井町や和田町の人口は増加している。本市に転入された方、市外に転出された方に対して、なぜ西脇市に転入したのか、なぜ高田井町を選んだのか、なぜ他市へと転出したのか等、その理由等に関するアンケート調査を実施し、結果を今後のまちづくりに生かしたらどうか。

A 以前に転出入者に対してアンケート調査を実施していますが、多くは結婚、就職、転勤、転職などが転出入の理由となっています。また、居住地を選択した理由としては、交通の便、職場や家族との距離、昔からの地縁、商業施設などの利便性などの回答が高くなっています。

県下での全体的な移動状況を見ますと、日本海側、内陸地域から沿岸部へと移動していく傾向にあり、より利便性の高いエリアに人口が集まっていくと考えられます。

本市においても、直近10年間の人口の状況を町別で見ますと、高田井町や和田町、野村町、小坂町などで人口増または横ばいを維持している状況ですが、これらの地域は、商業施設や医療施設、教育施設などが立地している利便性の高い市街化区域となっています。

これらを踏まえますと、転出入の要因についてはある程度予測でき、また移住者については相談時などにヒアリングなどを実施していることから、現在のところアンケート調査を実施する必要性は低いと考えていますが、今後の実施について検討し、市政に生かしてまいります。

## (2) 市のPRについて

Q 西脇市の活性化を促すため効果的な活動として、シティプロモーションを含め様々な情報発信が重要と考える。例えば、多可町では神姫バスにラッピングして町をPRしており、とてもわかりやすいと地元からは評判が良い。西脇市においても市のPRの一環として考えてはどうか。

A 西脇市をPRすることにより、今以上に西脇市を活性化させるという点については同じ思いです。

映像を生かしたPRをすることも強みであり、インターネットやSNSで市内の出来事や四季折々の風景などの映像をフェイスブックやインスタグラム、ユーチューブを活用し、こまめに発信することで西脇市をPRしていきます。

多可町のラッピングバスは、目立ちますし、分かりやすいので市のPR手段の一つであるとは考えますが、明確な効果を得ることは難しいとも聞いています。それなりの費用も必要であり、費用対効果を見極めながら必要に応じて検討していきたいと思います。

## (3) 「めぐリン」と「むすブン」について

Q 「めぐリン」の西脇市駅発の最終便は、時計回りが18時45分、反時計回りが18時40分で、これは加古川発西脇市駅着18時33分に対応した運行だが、ほぼ同程度の降客がある19時18分着にも対応する便が必要ではないか。

A 昨年度の1便の平均乗車人数は、2.1人です。18時40分発は0.45人、18時45分発は0.5人で、一日で一番少ない乗車人数です。19時18分着対応の増便が必要かどうかは、今後の課題と考えます。

Q 「むすブン」の予約の仕方が分からないという声がある。改めて希望する自治会で登録や予約の説明会を開催してはどうか。

A 民生委員さんからの要望で「みらいえ」で説明会を行いました。また、7月には出前講座で説明会を行います。

## (4) 若者が西脇市に住み続けるための施策について

Q 結婚しない若者が多く、ますます少子化が進むことになる。西脇市でも出会いの場の事業を毎年されているが、さらにマッチングアプリなどの開設をしてはどうか。

A 本市では、平成21年度から市民グループの方と連携して、出会いのパーティーを開催しています。合わせて、ひょうご出会いサポートセンターが運営する結婚希望者マッチングシステムである「はばタン会員システム」登録手数料の助成を行っています。

はばタン会員システムにつきましては、結婚を希望する20歳以上の独身の方であればどなたでも登録することができ、令和4年3月末現在で、3,306人（男性1,681人、女性1,625人）が登録されています。

西脇市でマッチングアプリを開設することは今のところ考えておりませんが、このはばタン会員システム登録手数料の助成を行うことと、西脇市で開催する出会い

のパーティーとの両輪で、結婚を希望する方に出会いの場を提供するよう進めています。

Q 移住定住促進について、若者の流出を防ぐ施策として起業誘致、通勤の補助、公共交通の充実等が必要だとの意見があった中でも、空き家を活用して若者の定着を考えてはどうかとの意見が多くみられた。結婚後の住まいの提案として空き家の情報提供を、空き家バンクの登録の充実や民間業者との情報共有などはできないのか。

A 昨年度の移住・定住の相談は62件あり、17世帯41人の方が市内に定住されました。その内、12世帯31人の方が市外から移り住まれた方で、5世帯10人の方が市内からの転居でした。

定住された17世帯の内、14世帯が空き家バンクを活用されており、移住定住に空き家バンクは有効な施策の一つと考えています。しかし、現在、紹介できる空き家が14件しかなく、紹介する空き家が不足している状況です。

一方で平成28年度の空き家調査開始から昨年度までに1,000件を超える空き家を確認していますが、活用が確認された空き家は144件、約14%に留まっており、依然800件以上が空き家となっています。(除却された空き家は102件)

また、空き家バンクの登録相談に来られる方の中には、空き家になった当時は住める状態でしたが、人が住まなくなり、維持管理が十分にできなくなった結果、老朽化が進み、雨漏り等の問題が発生してから来られる方も少なくありません。

今後は空き家所有者に対して、家が健全な状態で空き家バンクに登録していただけるよう働きかけていきたいと考えています。

#### (5) 道路の草刈りについて

Q 現在、国道・県道・市道の法面の草刈りは、基本的に隣接農地の所有者が行っているが、今後、農地が集約化されていくと物理的に不可能になると考えられる。河川環境整備補助金のような制度が必要ではないか。

A 通行に支障があるとして、上から1mは行政で対応している状況です。

Q 通行に支障がなくても環境的には問題がある。河川の草刈りも災害には直接支障はないが、環境面から補助金対応しているのではないのか。農家の高齢化・後継者不足を考えると喫緊の課題である。

A 今後の課題とさせていただきますと思います。

#### (6) 童子山公園の整備計画等について

Q 童子山公園の整備計画の進捗状況と今後の展望は。

A 現在、総合公園である童子山公園は、整備ではなく西脇市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の改築や更新工事を実施しています。

西脇市公園施設長寿命化計画における童子山公園の改築・更新の内容としては、園路や広場の舗装、園路照明やナイター照明の改築、休憩施設やトイレ、自転車置き場の更新など多くの対象施設がありますが、利用者の安全と安心を確保するため、経年劣化している園路舗装の改築や照明施設のLED化を優先的に実施しています。

童子山公園南部の山の部分の整備については、令和3年度に勤労福祉センターの解体が完了し、イベント時などに使用する駐車場としています。

また、以前は山の部分にありました、しばざくら花壇を西脇区まちづくり委員会と協議のうえ、おまつり広場西側の生活文化総合センター（ドゥジアム）前に移設し、多くの方に見ていただけるようになっています。

西脇区とワークショップを開催し、意見を集約した童子山公園の整備基本計画（案）については、配水池跡地を取り壊し、芝生広場に整備し、複合遊具の移設や新たな遊具の整備、展望台の改築やトイレの移設など様々な提案がありますが、実施については決定していません。特定財源の確保も含め今後も検討を進めていきたいと考えています。

#### (7) 播州織振興について

Q 播州織デザイナー等の協力の元、西脇市駅の内・外装を播州織で飾り付けるとともに、駅舎内に地場特産品等を展示し、玄関口にふさわしい駅舎にする、外壁は雨風に耐えるようアクリル板内等におさめ何枚かを貼り合わせ、内装は壁紙のようにベニヤ板等に貼り、取り付けるなどの整備を進めてはどうか。

A JRの駅舎等の施設改修などは、自治体負担であり多額の費用の捻出は難しい状況です。

平成30年度に、吹きさらしの待合室改善のための西脇市駅改修工事で展示場を撤去し、その後は、西脇高校生活情報科の生徒達に出窓に小物を展示してもらっています。駅の内装・外装については財政的負担を考慮して今後調査研究していきます。

#### (8) ローストビーフに並ぶ新しい食材の開発について

Q 食をテーマにアピールすればどうかとの意見があり、黒田庄和牛を使いハンバーグを西脇市の新たな新名物にとあったが、マイスター工房のように、食をテーマにアピールするのはどうか。

A 神戸新聞に掲載のとおり、現在、西脇多可料飲組合、JAみのりと連携して、黒田庄和牛ハンバーグを開発中です。

今後の予定につきましては、9月頃に完成予定で、PRにつきましては、料飲組合と連携しながら、産業フェスタ・農業祭でのPRや、市内外のイベントでPRしていきたいと考えています。

また、ふるさと納税の返礼品としても活用したいと考えており、そのあたりもPRしていきたいと考えています。

#### (9) 5G拡大状況及び公共施設におけるWi-Fi環境について

Q 若い人たちから選ばれるまちの要件として通信環境は重要。5Gのエリア拡大状況と、オリナス・ドウジアム・西脇病院等の公共施設でのWi-Fi環境の整備充実についてどう考えているのか。

A 5Gについては、現在主流の4Gに比べ多くの基地局（アンテナ）が必要で、通信事業者各社が整備を行っています。来年度中には、市内カバー率も高くなっていくと思われ、当面は各通信事業者の整備状況を見守っていく状況です。

公共施設のWi-Fi環境については、整備や運用に費用を要するため必要性を精査しており、施設の役割や利用者の声を踏まえて、それぞれの施設管理者がWi-Fi整備を検討しています。

オリナスとみらいえは既にWi-Fiが整備されており、ドウジアムと西脇病院は今後の検討となっています。

## ＜文教民生常任委員会＞

### (1) 市の花「しばざくら」の普及について

Q 市の花「しばざくら」が植栽されている場所が少なく、植栽箇所を増やすなどの取組が必要ではないか。また、個人に苗を配布する予定はないか。

A 現在、市が管理している11箇所のしばざくらの花壇が市内にあります。今後も、増やしたいと考えていますが、しばざくらの管理が大変難しく、ボランティアの皆さんにも大変苦勞を掛けているのが現状です。しばざくらの苗を希望される団体等には配布しています。個人用としては、配布していません。

委員会としても、市の花である「しばざくら」を広げるべきと考えますが、現状難しいと考えています。

### (2) 外国人向けごみステーションマナー等の周知について

Q アパート等に入居されている外国人に対して、ごみステーションの利用時などにおけるマナー等について、パンフレット等を作成し啓発指導する必要があるのではないか。

A 外国人のごみ出しについては、ごみ出しルールをよく知らないことが原因と考えています。みどり園のホームページには、現在、英語とハングル語のパンフレットがダウンロードできるようになっていますが、ベトナム語や中国語のものも増やすことにしています。また、外国人を雇用している事業所を調べ、事業所を通じたゴミ処理の啓発を行うとともに、対象となる自治会を通じた啓発活動も実施します。

## 第19回 議会報告会「議会と語ろう会」で出された意見・提案

■第1班 担当議員：寺北建樹・藤原桂造・藤原哲也

自治会	八坂町
開催日時	令和4年5月19日(木) 19:30~21:00
開催場所	八坂町公会堂
参加者	男性 12人 女性 1人 計 13人

### ★1部(議会報告)の意見・提案

(矢筈山登山道整備について)

- ・森林環境譲与税事業による矢筈山登山道の整備内容について  
⇒尾根伝いにある登山道両側の伐採、危険箇所・丸太階段の整備、案内板等の設置を予定しています。
- ・八坂町には神姫バスの路線があるが、利便性が悪い。「めぐリン」の路線拡大で対応できないか。  
⇒「めぐリン」「むすブン」の役割分担を説明。「むすブン」の全体の利用実績と芳田の利用実績を説明し、積極的な利用を呼び掛けました。

### ★2部(議会報告)の意見・提案

- ・市街化調整区域で簡単に家が建てられない。限界集落になりつつある。  
⇒県は「兵庫県土地利用推進検討会」を開催し、市街化調整区域等の土地利用の推進方策について検討をしています。大きくは期待できませんが、少しずつ改善されていくのではないのでしょうか。
- ・農業の後継者がいない。  
⇒1町だけで解決できる問題ではないです。芳田地区レベルの対応が必要ではないでしょうか。農会長会で話し合ってください。
- ・河川、道路等の法面の草刈りが高齢者ばかりで負担が重い。何とかならないか。  
⇒6月の総務産業常任委員会で取り上げ、議論しました。(4ページ参照)
- ・角尾山山麓の景観・紅葉・雑木林、鳥・昆虫・植物を残したい。  
⇒芳田自治協議会でぜひ取り組んでください。
- ・若い人が正社員として働くことができる職場の確保が必要。朝の出勤時間帯には平野交差点から播磨中央公園にかけて渋滞ができる。  
⇒行政も努力していますが、工業団地をつくる平地が少なく、インターチェンジから遠い等々の条件で近隣自治体となかなか勝負ができないのが実情です。

(その他)

- ・芳田小学校体育館の屋根がさび付いている。運動場でグラウンドゴルフをしている高齢者は、廃校が決まっているから修繕しないんやろと言っている。
- ・所得制限なしの医療費の無料化の拡大…何事も取組が遅い、他市に先駆けて取り組んでほしい。



自治会	高田井町
開催日時	令和4年5月20日（金） 19:00～20:30
開催場所	健康福祉センター
参加者	男性 11人 女性 18人 計 29人

### ★1部（議会報告）の意見・提案

（日本のへそ西脇子午線マラソン大会の廃止について）

- ・目指す健幸都市に逆行するのではないかと、復活を求める。  
⇒予算常任委員会で教育委員会から示された廃止の理由（4点）、ランナー有志による署名提出、西脇多可新人高校駅伝競走大会補助金の増額等を説明

### ★2部（議会報告）の意見・提案

- ・広大な企業用地を準備できない西脇市においては、「霧のいけうち」のスプレーノズルのように、特化した技術力と知名度の高い企業を誘致すべきではないか。  
⇒黒田庄町門柳での(株)萬乗醸造の取組を紹介
- ・西脇市の人口減少が懸念される中、高田井町や和田町は増加している。転入者に選択の理由等アンケート調査をして、今後のまちづくりに生かすべきではないか。  
⇒6月の総務産業常任委員会で取り上げ、議論しました。（2ページ参照）
- ・「めぐリン」の西脇市駅発の最終は（時計回り・反時計回りとも）JR18時33分着対応となっている。19時18分着にも対応すべきではないか。降客は2便とも70～80人と同じである。  
⇒6月の総務産業常任委員会で取り上げ、議論しました。（3ページ参照）
- ・「むすブン」の予約や利用方法が分からない。  
⇒6月の総務産業常任委員会で取り上げ、議論しました。（3ページ参照）
- ・春日橋の左折と直進の表示が事故になりやすい。万松前、マクドナルド前の信号を時差式にして欲しい。  
⇒担当課に伝えた結果、県事業のため区長名で要望してほしいと回答がありました。

（その他）

- ・子育て支援・充実のまちに（子どもが遊べる屋外プール・遊具を設置した公園の充実・給食費の無料化・病児保育の充実）
- ・市民憲章に「青少年の夢と希望を育てましょう」とうたいながら、若者向けの対策が少ない。

自治会	八日町
開催日時	令和4年5月22日（土） 19:30～21:00
開催場所	八日上丘公民館
参加者	男性 8人 女性 4人 計 12人

### ★1部（議会報告）の意見・提案

（奨学金の廃止について）

- ・西脇市奨学金条例の廃止について、不利益にならないのか。  
（二重に受給できると誤解されていた。）  
⇒西脇市奨学金と他の奨学金の二重受給はもともとできないことを説明。

（日本のへそ西脇子午線マラソン大会の廃止について）

- ・日本のへそ西脇子午線マラソン大会をなぜ廃止したのか。  
⇒教育委員会が予算常任委員会で説明した4点について説明

## ★2部（議会報告）の意見・提案

- ・童子山公園には子どもが遊ぶ遊具が少ない。  
⇒6月の総務産業常任委員会で取り上げ、議論しました。（4ページ参照）
- ・総合市民センターから旧勤労福祉センターへの通路のタイルが剥がれている。  
⇒現場を確認したのち、担当課に今後の対応を確認します。
- ・都麻乃郷グラウンドの整備ができていない。気持ちよく走れるように整備をしておいて欲しい。上のトイレが壊れている。  
⇒都麻乃郷グラウンドにおける標準通りの整備は常日頃から行っています。（教育委員会 生涯学習課）また、実際に現地を確認しましたがトイレは壊れていませんでした。
- ・八日町信号付近の路側帯が消えかかっており、よく傷んでいる。舗装すると約束をもらっているが、いつ頃になるのか教えて欲しい。  
⇒担当課に確認します。（確認の結果、9～10月頃との回答を町内会長に連絡済）
- ・「むすブン」は、病院や買い物によく使っており、大変喜んでいる。しかし、帰りの予約に困っている。もう少し便利にならないか。  
⇒他の地域からも同じような要望が出ているので、議会でも対応について検討したいと思います。
- ・西脇病院の待合場所のイスに一つ空けて座るように着席禁止の張り紙をすべきではないか。  
⇒混雑して座る席がなくなる場合があるので、通路等に感染防止を促すお知らせをしています。
- ・休日の窓口電話対応で、他の病院を紹介されたが文句を言ったら来院してくれと言われ、行ったら当直医に「急性の高血圧症」と診断され、事なきを得た。今も不満である。  
⇒休日の緊急一時外来は専門医がいない場合があり、症状によっては専門医でないと対応できないため、電話対応の際に他の病院を紹介する場合があります。  
当日は、電話で症状を伺った結果、一時外来では対応できないと電話対応者が判断しました。たまたま循環器の専門医が当直医であったため、医師と相談の後、診察を行いました。通常は専門医がいないため、対応はできません。

自治会	上本町
開催日時	令和4年5月26日（木） 19:30～21:00
開催場所	上本町公民館
参加者	男性 13人 女性 4人 計 17人

## ★1部（議会報告）の意見・提案

（日本のへそ西脇子午線マラソン大会の廃止について）

- ・市長は、へそマラソン廃止については教育委員会が決めた事なので答えようがないとの答弁をしている。そこで、私は①へそマラソンを無くすことに対し、市長個人の意見を聞かせて欲しい ②実行委員会を開催せずに廃止を決めたことについてどう考えるのか ③開催の声が大きければ再考する考えはあるのか の質問を市長公室にしているが、返事はまだない。教育長は、再開するのであれば有志メンバーで会を立ち上げてやってほしいと言ったが、理解できない。今からでも実行委員会を立ち上げ、再開して欲しい。それが議員の仕事ではないのか。議員の意見を聞きたい。

- ⇒寺北、藤原桂造、藤原哲也の3人がそれぞれの考えを説明
- ・へそマラソンについて議会はどのようにしようと考えているのか。6月議会で再開の方向を出してほしい。
- ⇒班での意見をまとめて班長会で決めるので、6月議会でどのようになるかは分かりません。

**★2部（議会報告）の意見・提案**

- ・西脇公園のゲートボール場はほとんど使われていない。他のスポーツに使うべき。たとえば若い人に人気のあるスケートボード場など。
- ⇒近隣の人たちが、グラウンドゴルフ場として利用しています。

(その他)

- ・祭りが市の賑わいのバロメーターになっていた。祭りでは町が協力していた。へそ踊りもなくなり、よさこいもなくなり、祭りでのメインの行事が長続きしない。事業が中途半端で町が寂れる。
- ・観光誘客がなぜ必要なのか。特定の人しかメリットがない。
- ・近隣市では、工業団地がうまく進んでいるのに西脇市ではできていない。その理由が見えてこない。
- ・西脇と言えばマラソンである。知名度がある。広島県世羅町の取組を見習ってほしい。
- ・年寄りにやさしいまちになってほしい。そのために若い人に根付いて欲しい。
- ・レディースマラソンが昔あった。イベントは無くさないようにしてほしい。

**■第2班 担当議員：村井正信・村岡栄紀・森脇久夫**

自治会	野村町7区
開催日時	令和4年5月17日（火） 19：30～21：00
開催場所	茜が丘集会所
参加者	男性 5人 女性 0人 計 5人

**★1部（議会報告）の意見・提案**

特になし

**★2部（意見交換会）の意見・提案**

**① 働きやすい地域**

- ・子どもが市内に就職先がないため市外に出ていった。
- ・加東市は選ばれる市になっている。大企業があればと思う。
- ・企業が増えれば飲食店も増える。
- ・大企業を呼ぶための土地の誘致場所を確保して欲しい。
- ⇒企業誘致については、西脇市でも取り組んでおり、新規立地企業会加入の会社は10数社に上ります。現時点では企業誘致に適した市有地がないため、民有地を紹介しており何件かの問い合わせがあると聞いています。近隣の市は丘に近い山が多いため土地の確保がしやすいですが、西脇市は急峻な山に囲まれているため、他市と比べて土地確保が難しいということがあります。
- ・若者が西脇市で就職先をネットで探しても、出てこない。マッチングアプリ等を活用して、若者と地元企業とがマッチング出来るようにして欲しい。
- ⇒マッチングアプリについては、マイナビと連携している企業がありますが、数が限

られており広く浸透していない現状です。西脇市は小企業が多く、費用効果的からも採用には「ハローワーク」を使う企業が多いのが現状です。市のマッチングアプリについては会社の採用時期が違うため常に更新作業が必要で、採用している市もありますが、あまり活用されていません。商工観光課では、次回新規立地企業会で現状について聞いておきますとのこと。

- ・ J R 谷川線が昔は18本であったが単線切り替えなしになり 9 本に減った。利便性のある電車運行にすれば、大阪等への通勤も充分可能になる。  
⇒朝の時間帯で乗車人数を調査しました。午前7時台の西脇市駅から谷川駅行き、及び谷川駅から西脇市駅行きでは共に20数人でした。朝の通勤、通学時間はほぼ決まっているため予定しやすいですが、夕刻の時間帯は学校や会社の仕事の都合で時間が変化しやすいので、それに対応した増便が望まれます。なお、公共交通はインフラの役目も持っており、阪神淡路大震災時には貴重な交通機関として大きな役目を果たしました。このことを忘れてはいけないと思います。

(その他)

- ・ 交通の便で、 J R ・ バスの交通網が悪い。
- ・ J R 加古川線が雨等でよく止まるため通勤で使用するにはリスクが高い。 7 時台の本数も少ない。
- ・ 西脇市から市外に抜けていく道路が混む（特に平野町から滝野に行く道路）。道路整備をして欲しい。
- ・ 西脇市から通勤している市民に通勤費の補助をしてはどうか。

## ② 子育てしやすい地域

- ・ 車道を横断する際、歩道で立っている時に車は止まらなければならないことの啓発をお願い。  
⇒西脇市のコープ神戸前の道路で月に数回啓発活動を行っているとのこと。

(その他)

- ・ 通学路の安全確保
- ・ 子どもの見守りの人も毎日大変である。
- ・ 通学路に街灯が少なく夜暗い。
- ・ 大池付近の歩道が雨の日は水浸しになり、子どもの足元が濡れるので道路整備の対応が必要である。
- ・ 小学生が通学する時に工業高校の生徒が走っているが、危険を感じる。

## ③ 子どもの遊び場

- ・ 子どもを遊ばせる場所で自然に近い場所が欲しい。
- ・ ザリガニがいるような川遊びができる場所が欲しい。

## ④ 良好意見

- ・ ここは住むのに良いところ、お金をかけず生活できる。医療機関も充実している。地元の良いをもっと打ち出して欲しい。

自治会	黒田庄町田高
開催日時	令和4年5月18日（水） 19：30～21：00
開催場所	黒田庄町田高公民館
参加者	男性18人 女性 0人 計18人

★1部（議会報告）の意見・提案

（公共交通について）

- ・公共交通で乗合タクシーに多額の税が投入されているが、この地域では運行されているのを見たことがない。利用されているのか  
⇒令和3年4月～令和4年3月の期間で黒田庄地区では3,617人が利用されています。

★2部（意見交換会）の意見・提案

①学校の統廃合

- ・学校の統廃合については、楠丘小と桜丘小の統合等はやむを得ないことと理解はしているが、通学方法や子供たちの人間関係、場所がどこに決定するのかなど懸念している。  
⇒検討委員会の答申が7月にあります。

（その他）

- ・中学校だけを統合する。

②暮らしやすい町に

- ・西脇市の子育て支援をどう考えているのか。子供が少なくなっていることをどう考えているのか。  
⇒子育て支援条例、住居対策、保育料無償化、副食費無償化など施策を行っているが、近隣自治体同士がお互いの動向を意識しているため、どこも似た感じで大きな優位性はありません。
- ・淡路などでは働きやすい社会を目指し「空き家」がよく売れており、非常に魅力を感じる。  
⇒西脇市では空き家バンク登録制を行っており、この2～3年に毎年10数件のマッチングがあります。なお、空き家登録が少ないので空き家の持ち主の方の登録を進めています。
- ・西脇も若者が住みやすい魅力ある施策で盛り上げてもらいたい。
- ・議会は単に意見を言うだけでなく、具体化に向けて努力してほしい。

（その他）

- ・育児手当の充実が必要
- ・明石市のような子育て支援
- ・みらいへの活用やPR
- ・たとえば3人目は手当100万円とか。

③災害に強いまち（避難所設置場所）

- ・中学校が避難所になっているが橋を渡らなくてはならない。
- ・避難所が遠い。
- ・内水氾濫で浸水→泥をかぶる。  
⇒過去の被災経験から内水対策について、行政に対する不満が出ると思っていました  
が、公民館を第一次避難所としての取組が定着しているように思われます。し  
かし、橋を渡っての中学校への避難には抵抗があるようです。

#### ④西脇市のPR

- ・アミューズメント、テーマパーク、カジノの推進
- ・何か一つ強みを全国にPRできないか（一点にお金をかける黒田庄牛、西脇工業高校、播州織）
- ・西脇市はPRが下手。もっと本市の良さをPRするとともに、市民に向けても行政サービス等に関してきめ細やかにPRを。  
⇒議会として、例えば市内民間会社のトラックに西脇市のPRになるラッピングを施してもらおうような提案をしましたが、効果が見られないということで実現していません。（3ページ参照）
- ・田高には「春日神社の一本杉」のような名所があるので、積極的にPRしてほしい。
- ・名所に特産品を置いてもらいたい。
- ・市外、県外からの誘客

#### ⑤交通関係

- ・電車等の交通の便を改善
- ・若者が帰ってこない、人口を増やすためには交通の便を改善する。  
⇒この件に関しては、野村町7区の報告書に記載しています。（11ページ参照）
- ・駅舎の播州織による飾りつけ（播州織のデザイナーの協力の下、西脇市駅の駅舎の内装を播州織で飾り付けるとともに、地場産業等特産品等を展示し、玄関口にふさわしい駅舎にしてもらいたい。）
- ・外壁は雨風に耐えるようアクリル板内等におさめ何枚かを貼り合わせる。
- ・内装は壁紙のようにベニヤ板等に貼り、取り付ける。  
⇒6月の総務産業常任委員会で取り上げ、議論しました。（5ページ参照）

#### (その他)

- ・大阪、神戸へ通勤圏内にする。（谷川駅、新三田駅の活用）
- ・通勤圏内1時間
- ・通勤圏内1時間は、町の人々の発想ではないか。田舎では少し無理があるのでは。
- ・加古川線（西脇市駅～谷川駅）の赤字路線の公表には不安を募らせている。特に高校生の通学のため、ぜひ残してほしい。さらに乗り換え連絡等もっと便利にして欲しい。
- ・谷川→加古川→大阪間を環状線のようにして、日に1～2本は乗換えなしに大阪まで行ける便を近隣市町と広域連携して実現してほしい（北条鉄道は東北の五能線を購入したりして人気を博している。車両の工夫も）。JR西日本に申請できるように6月定例会で検討してほしい。市長が兵庫県の検討委員会のメンバーですので、その場で積極的な発言をされることと期待しています。

- ・観光誘客で活性化する。
- ・多くの人に関西万博に行き来できる。
- ・災害時の路線として効果的
- ・車が乗れなくなった時が心配
- ・交通アクセスの確保
- ・バイパスの早期整備

## ⑥経済関係

- ・織物以外の産業振興、織物に引っ張られて脱皮できない、織物産業からの脱皮＝企業誘致期待
- ・西脇市の立地条件（平地が少ない。高速道路インターチェンジから遠い）を理解しつつ、なお企業誘致＝働く場所の確保への期待から脱皮できない。
- ・働く場所がない。
- ・インターネット環境を充実してIT企業の誘致を。（情報ハイウェイ）
- ・魅力ある企業があれば遠い所からでも来る。
- ・少子化で大学進学率が高くなっている。卒業後帰ってくるために。
- ・卒業しても仕事がなく帰ってこない。
- ・コロナの影響非常に大きい。70～80%減
- ・選択肢が少ない。
- ・播州織は価格が高いので、価値を打ち出しながらも、安く販売する工夫をしてもらいたい。
- ・酒蔵が来てくれたことには感謝している（田高、門柳地域の農家に恩恵）。斬新な農業施策により経営が上手くいくことを望んでいる。
- ・キャッチフレーズの作成（例 イケイケ・ドンドン西脇市、イケイケ・コイコイ西脇市）市民から一般募集する。

自治会	大木町
開催日時	令和4年5月28日（土） 19：30～21：00
開催場所	大木町集落センター
参加者	男性 8人 女性 0人 計8人

## ★1部（議会報告）の意見・提案

特になし

## ★2部（意見交換会）の意見・提案

### ①経済関係

- ・企業誘致をしっかりと行わないと、若い人の働くところがないので、西脇に帰ってこない。
- ・西脇市は市街化調整区域になっているため、企業誘致が難しい。改善要望  
⇒地理的に近隣市町よりも不利であり、高松町の山を切り開いたりすることも必要なのではないでしょうか。現状は旧市役所跡地への誘致を進めています。

（その他）

- ・機織工場は昔、大木町も50軒あったが、今では1軒もない。

- ・市内に働く場所がないため、市外に勤めている。
- ・大型のショッピングモールがないのは西脇市だけである。
- ・加西や姫路の市外に勤めているため、通勤に便利な道路にしてほしい。

## ②空き家対策

- ・大木町の空き家はまだ3件であるが、今後どんどん増えていくものと思われる。対策が必要  
⇒空き家バンクの活用等しっかりした対策の検討が必要と考えます。

## ③地域の農業について

- ・大木町に営農組合があるが、山田錦、食用米のコメの値段が下がり、営農組合でも、経営が赤字である。補助金等ないのか、補助して欲しい。  
⇒8月の臨時会で補助が決定しました。(米10aあたり 3,000円、麦・大豆・出荷野菜等10aあたり 2,000円)

(その他)

- ・営農の担い手については、若くはないが今のところ引継ぎはうまくいっている。10年後は心配である。

## ④地域づくり

- ・市街化調整区域なので家が建てられない。  
⇒特別指定区域の計画が以前からあると伺ったので、それを実現させていくことも大切です。
- ・西脇市には賃貸のハイツはあるのか。  
⇒西脇区や野村・重春地区などの市街化区域にはたくさんありますが、大木町は市街化調整区域なのでありません。日野地区では市街化区域である小坂町・郷瀬町などにあります。
- ・日野北バイパスの有効利用として、道路沿いに店舗を誘致したい。  
⇒特別指定区域の計画の中に入れてみてはどうでしょうか。

(その他)

- ・西脇市の都市計画の失敗
- ・多可町と合併していたら西脇市も変わっていたと思う。

## ⑤教育・学校統廃合について

- ・小中一貫の方向性の流れの中では、必要だと考えるし、税金の面からも妥当であると考え。  
⇒4km以上離れる場合はバス通学となります。(中学生は6km以上)
- ・子育てで最もお金がかかるのは、高校から大学の時であるのにもかかわらず、西脇市の奨学金が廃止になったのは残念である。  
⇒教育費において優先順位を考える中で、奨学金廃止によるデメリットもありますが、廃止の選択をしました。



## ⑥大木町の賑わいについて

- ・キャンプ場があり賑わっている。
- ・大木町のバイパス道路の街灯が夜間点灯しているので便利
- ・適度の人口で地域は安全である。
- ・日野小学校があつての大木町である。残して欲しい。
- ・西脇市をベットタウンにしてはどうか。(他市町へのアクセス道路整備と一体的に考える)
- ・大木町の世帯、昔は70戸→160戸に増えた。本家から新宅と増えた。今は減る一方であるが、三重構造になっている。

## ⑦要望

- ・キャンプ場にトイレがない。取付けて欲しい。
- ・大木町神社・グラウンドの共有のトイレがくみ取り式であるため、水洗に替えて欲しい。  
⇒キャンプ場等まで下水管を引くことになり財政的に負担が大きく、現時点では困難です。
- ・大木町の雨水水路が経年劣化しているため、補修して欲しい。  
⇒自治会を通じて市へ申し入れてください。一般水路と農業用水路がありますが、農業水路の場合は受益者負担金が必要となります。

## (その他)

- ・耐震リフォームを施工したのだが、ずっと市役所の窓口に行っていたのにもかかわらず、補助金があることを知ったのが遅く、かつ、応募期間が短くて補助を受けられなかった。もっとPRをしっかりとほしかった。

## ■第3班 担当議員：浅田康子、高瀬弘行、杉本佳隆

自治会	野中町
開催日時	令和4年5月14日(土) 19:00~20:30
開催場所	野中町公民館
参加人数	男性17人 女性0人 計17人

## ★1部 (議会報告) の意見・提案

### (へそマラソンについて)

- ・へそマラソンをやめずに継続せよという、議会としての意見はなかったのか。  
⇒そういった意見も一部あったが、議会としては提案していません。
- ・存続してほしいという7,000人の気持ちはどうなるのか。  
署名を受けての教育委員会の回答として「改めての組織を作る」とはどのような組織なのか。ボランティアでもいいのか。  
⇒真摯に教育委員会は受け止めています。7,000人の中から実行委員会を作ってもらいたいと思います。

- ・担い手不足がクリアできれば継続の可能性はあるのか。  
⇒理事者からは「あり得る」と聞いています。
- ・継続に向けて議会も努力してほしい。  
⇒野中町の意見として承っておきます。

(その他)

- ・廃止を撤回できるよう議会として努力してもらいたい。
- ・西脇というと「あの駅伝の西脇ですか!」と言われる。「走る」ということが西脇の知名度を上げる大きなコンテンツである。
- ・なくしてしまうのは残念。7,000人の署名を真摯に受け止めてほしい。
- ・市民ランナーが参加できる大会がなくなるのは非常に残念
- ・子どもから高齢者まで参加できるへそマラソンを何故やめるのか。
- ・教育長の言葉を覆したい。議員の皆さんの力で覆してほしい。

## ★2部 (意見交換会) の意見・提案

### ①空き家について

- ・近隣の高齢者が所有している織物工場を解体するのに補助金があれば助かる。  
⇒地区まちづくりで、防災倉庫やポケットパークなど10年間管理していただけたら最高 150万円の補助があります。(都市住宅課)
- ・空き家等の有効利用をお願いしたい。  
⇒対策は講じていますが紹介できる物件が少ないです。空き家バンクに登録してほしいと思います。(都市住宅課)

### ②選ばれるまちについて

- ・「選ばれるまち」とは誰が選ぶのか、他市町の誰かが西脇市に住みたいと思えるようなまちということか、漠然としすぎている。もっと具体的な課題を出してほしい。

### ③住みよいまちについて

- ・市街化調整区域なので家が建てられない。若者が帰ってくる制度を。  
⇒市街化調整区域が撤廃されたとしても不便な所には家は建てないのではないだろうか。
- ・若い人に住み続けてもらうために、毎月の住宅補助をするなど、高齢者への補助を削減してでも策を講じてはどうか。  
⇒住宅補助の制度の予定はありません。
- ・西脇名物、みやげがないので開発してほしい。  
⇒現在開発中です(黒田庄和牛のハンバーグ)

(その他)

- ・「働くところがない」「地域の学校がなくなる」学校に行くのにバスが必要なところに若者は帰ってこない。

- ・移住者を増やすことも必要だが、今住んでいる人がもっと住み続けるまちにすることがある。
- ・市の発展を考えるなら若い人に焦点をあて、「住む」ことを選んでもらえる政策が必要
- ・仕事は近隣他市、ベッドタウン西脇市でも良いと思う。
- ・仕事は市外でいいので、通勤でカバーするようにすべきである。
- ・織物ばかりに予算を掛けず、他の施策（へそマラソンのような）にも投入してほしい。
- ・住み続けてもらうには、「安心」は必須で、特に経済的な側面、教育環境は欠かせない。

#### ④消防団について

- ・消防団は将来3町（野中・大木・羽安）が合併する可能性があるという、現状はいつまでたっても退団できない。合併してからの団員の人数を検討して欲しい。  
⇒関係者で話し合いの上、決められています。（防災安全課）

#### ⑤企業誘致について

- ・働く場所がないことについて、加西市には工業団地があるが、西脇市はどのようになっているのか。他所から人を呼び込めるようにすべき。市街化調整区域制度が企業が来るのを邪魔しているのではないか。  
⇒企業誘致は行っています。地域資源（環境・水）が良いからとの問い合わせはありますが、企業としては高速道路に近いところを希望されています。  
⇒西脇市が誘致した企業は10数社あります。西脇市には企業誘致に適した市有地がないため、民有地の紹介をして誘致への努力をしているとのこと。

#### ⑥公共交通について

- ・毎年高校卒業生 200人の就職先は市外が多いようで、西脇を離れ減っていく。西脇から神戸へ行くのに1時間30分以上かかるが、加東市からは神戸まで70分位で着く。通勤時間を減らすことで、高校生が転出せずに通勤できるように、西脇から神戸までの直行便を増やすようにしてほしい。  
⇒西脇市とタクシー会社、神姫バスなどで公共交通会議的な会議を開催しており、その場で意見を伝えてもらうようにします。

#### (その他)

- ・交通の便については不便な地域に政策が行きわたっている。
- ・むすブンは行くときは良いが、病院等へ行って治療が終わって乗車依頼しても2～3時間待ちになる。タクシーの方が良かった。免許証を返納してもメリットがない。
- ・谷川線は大阪に行くとき、時間さえ合えば1時間30分程度で行ける。連絡を良くすればもっと乗るようになる。

#### ⑦イベントについて

- ・市役所が下戸田に移転し、日野地区が寂しくなった。大きなイベントを期待したい。  
⇒市民が中心となって実行委員会を立ちあげていただけるなら助成金は検討します。

(その他)

- ・県外に出て西脇市の話をするとき、駅伝で「西脇市」はわかってもらえるが、織物などは通じない現状がある。駅伝やマラソンなどを大切にしてほしい。
- ・西脇市出身のプロ野球選手など有名人の力を借りて西脇市をPRしてもらってはどうか。
- ・ネットでもできる障害者向けのスポーツ（ボッチャ）などを実施して、西脇市をアピールできないか。

## ⑧その他

- ・織物まつりの1日に短縮は賛成である。その分、より盛大に実施してもらいたい。  
⇒内容については、実行委員会で検討していきます。(商工観光課)
- ・西脇市は下戸田の庁舎付近と野村町のみらいえ付近及び小坂町・郷瀬町までは市の中心地として充実させているが、北部地域や他の地域はどうでもいいような政策をしていると感じる。  
⇒人口減少に伴い、各地域で全てのサービスを満たすのではなく、都市拠点などを適切に配置し、中心部と郊外部を有機的に連携していきます。(都市住宅課)
- ・市の職員さんをお願い：イベントはブースを貸して終わりではなく、最後まできちんと管理してもらいたい。(時間が来てないのにさっさと撤去して帰る方が結構いる。)  
⇒担当ごとに役割分担しているので、途中で帰る職員もいますが、管理は責任をもって最後まで対応します。(商工観光課)
- ・コンパクトシティは中心地以外では不便である。中心部だけが良くていいのか。  
⇒人口減少に伴い、各地域で全てのサービスを満たすのではなく、都市拠点などを適切に配置し、中心部と郊外部を有機的に連携していきます。(都市住宅課)
- ・野中町の織物工場跡地に新規企業で水素関係の会社が来ている。SDGsを踏まえ、先進的な取組として西脇市として、タイアップしてはどうか。  
⇒具体的には把握していませんが、情報収集していきます。(商工観光課)
- ・奨学金や医療費補助など、遅いまたはできておらず、他市に見劣りする。  
⇒行政サービスについては、他市と異なる場合もありますが、新しく設置した市長公室を中心に、市民ニーズや財政状況なども踏まえながらスピード感ある対応を進めていきます。(市長公室)
- ・小規模特認校を残して西脇市をPRすべき。  
⇒現在、「学校学習環境規模適正化検討会」で議論され、7月中旬に答申が出される予定です。(学校教育課)
- ・西脇市の施策に良いこともあるが、それは点であって線や面のようにつながっていないように感じる。予算に限界がある以上、今の予算で何ができるか、市、議会がもっと真剣に考える必要がある。  
⇒市の業務は多様な分野にわたるため、場当たりの取組になる懸念があります。そのため、プロジェクトチームの設置など、分野横断的な連携を進めていきます。(市長公室)

- ・1点集中の政策で他市に先駆けてやる必要があるのではないかと思う。  
⇒多様な方が暮らされている中で、特定の分野に集中するのは難しい部分もありますが、西脇市固有の地域資源を生かした取組を進めていくことで、オリジナリティのあるまちづくりを進めていきます。(市長公室)
- ・市長は、西脇市がどちらに向いて進めていくのかを示してほしい。  
⇒市長のまちづくりの方針を示すものとして、所信表明があります。その中で、健幸都市の実現、パートナーシップで進めるまちづくり、誰ひとり取り残さない地域づくりを重点的に取り組むことと示しています。こういった考え方が市民の皆さんに伝わるようにしていきます。(市長公室)
- ・日野北部地区には避難所となる公共施設がない。水害時指定の富吉南町の体育館では、遠く、また狭いため、避難となったときに安心できない。  
⇒早期の避難をお願いします。避難所については、地域指定はありません。

自治会	黒田庄町船町
開催日時	令和4年5月17日(土) 19:00~20:30
開催場所	船町公民館
参加人数	男性12人 女性0人 計12人

### ★1部 (議会報告) の意見・提案

特になし

### ★2部 (意見交換会) の意見・提案

#### ①企業誘致について

- ・働く場の確保のため、企業誘致は重要であるが、なかなか難しい課題である。
- ・西脇市は、播州織に頼り過ぎていた傾向がある。
- ・企業誘致よりも、住みやすい西脇市を目指すべきではないか。
- ・西脇市には仕事がない。
- ・西脇に残っているのは長男か公務員などが多い。
- ・家業を継ぐぐらいしか帰ってこない。  
⇒企業誘致は行っています。地域資源(環境の良さ・水)を利用したいとの企業の間い合わせはありますが雇用につながる大手企業などはありません。企業は高速道路のインターチェンジに近いところを希望されます。

#### ②住みやすい西脇、通勤しやすい西脇について

- ・若者が西脇市に住む際、新築、旧家のリフォーム、解体費用に対し、補助を行う。  
⇒補助金の制度はありません。

(その他)

- ・通勤手当(月5,000円程度)の支給を市として行う。
- ・JR谷川線が廃線にならないか心配である。
- ・近くで遊べる場所や安心して散歩のできる環境が欲しい。

- ・公共交通をなくさない(J R 谷川線)

### ③空き家対策について

- ・空き家解体費用の助成制度をつくる。  
⇒地域のまちづくりに10年間、防災倉庫やポケットパークなど町が管理をされる場合上限 150万円の補助があります。
- ・国道沿いの火事跡の空き家を早く処分して欲しい。  
⇒持ち主が隣に居住されているので、空き家としての登録物件とはなりません。
- ・5年前に火災になった家が今もそのまま残っている。何とかならないか。区長も市に相談しているようだ。  
⇒上記に同じ

### (その他)

- ・地元以外の人々が気兼ねなく移住できるようにする。
- ・住宅支援 (現在は空き家活用)
- ・最近、船町に移住者が1人こられた。(明石市から)

### ④若者の結婚について

- ・結婚をしない若者が多く、ますます少子化が進んでいる。
- ・結婚に際し、奨励金的なものを贈る。
- ・民間で出会いの場の設定やマッチングアプリの開設をする。  
⇒総務産業常任委員会で議論しました。(3ページ参照)

### ⑤シルバー世代の活躍の場について

- ・船町では、毎朝、子ども見守り隊で頑張ってくれているシルバーの方がおられる。
- ・シルバー世代が活躍できる場づくりをする必要がある。

### ⑥全国的なイベントの創出について

- ・西脇市が注目されるような全国的なイベントを考える必要がある。
- ・そのために、市民がアイデアを出せる場づくりが必要では。  
⇒市民が中心となって実行委員会を立ち上げていただければ助成金等は検討します。(商工観光課)

### ⑦共聴アンテナ

- ・インターネットがつながらない家がある。船町2軒、小苗10軒(船町・小苗はテレビアンテナ共聴組合)
- ・テレビが見られる環境 現在 月 500円(年間 6,000円)
- ・テレビアンテナでは見られない(電波難民)
- ・今後の共聴組合の在り方、インフラ整備
- ・多可町と加東市はケーブルテレビがある。西脇市にはない。

- ・ケーブルテレビを導入してほしい。
- ・もし、共聴組合を解散する場合も撤去費用などお金がかかる。

### ⑧加古川河川の草の除去

- ・この奉仕作業は年1回だが町民は高齢化が進み、結構重労働となっている。改善して欲しい。  
⇒業者への依頼や自動草刈機のレンタルを利用されている地区があります。担当課に資料があります。参考にしてください。

(その他)

- ・河川愛護の草刈りが高齢化によりしんどくなっている。

### ⑨その他

- ・旧市役所市民会館の跡地利用  
⇒都市計画の利用制限があるので、現在では事務所・研究所などの誘致に向けて検討しています。(商工観光課)
- ・船町は、橋の両側が町域となっている。町をつなぐように、こいのぼりを橋の上にあげたい。市の補助がもらえるだろうか。  
⇒町単独の補助金制度はないので、黒田庄地区のまちづくり事業として、検討していただきたい。(まちづくり課)
- ・獣害被害(シカ、イノシシ、アライグマ)船町はシカ柵対策がされていない。  
⇒区長を通じて、要望書を提出してください。(農村整備課)
- ・シカの通り道が決まっている。カラス対策  
⇒区長を通じて、申し出てもらえれば、カラスについては、ワナなどの検討をします。(農村整備課)
- ・織物まつり・へそマラソン廃止は時代に逆行しているのではないか。  
⇒織物まつりについては、実行委員会で1日に決定しています。また、へそマラソンについては、当初予算に計上されていなかったもので、議会としては実行委員会に説明をするように申し入れ、最終的には実行委員会で中止が決定しています。
- ・仲間意識が強いが、閉鎖的で外からの人は入りにくいと思う。例えば、田んぼを貸出したいと思うが、相手がどんな人なのか分からないので不安  
⇒地元の農会長や農業委員に相談してください。制度や貸出については、農地中間管理事業の活用が可能です。(農林振興課)
- ・将来は移動手段に不安はあるが、コミバスは利用したことがない。乗り方などもよく知らない。  
⇒市役所の企画調整課へ連絡していただければ、案内させていただきます。(企画調整課)
- ・電気自動車のスタンドが市内に何箇所かあるが、旧市役所にあるのに、新しい市役所にはない。もう少し市内にスタンドが増える事を願う。  
⇒最近では、家庭で充電する方向です。そのため、創エネ省エネ設備などの導入に対して、奨励金を交付しています。(環境課)

自治会	高嶋町
開催日時	令和4年5月24日（火）19:30 ～ 21:00
開催場所	高嶋町公民館
参加人数	男性7人 女性4人 計11人

★1部（議会報告）の意見・提案

特になし

★2部（意見交換会）の意見・提案

①産業・企業誘致について

- ・食品関係の店舗は多くあるが、衣料関係の店が少ないので、加西や北条まで買いに行くことが多い。衣料関係の店舗の進出を望む。
- ・市民はどこへ何の買い物に行くのかを調査し、西脇市にない商品を揃えた店舗の誘致をすべきではないか。
- ・旬菜館に地場産業の製品置き場を作り、食品と衣料等の製品販売を行う。
- ・企業誘致
- ・若い人が働ける職場が少ない。企業誘致を進めてほしい。
- ・田んぼを潰して工場誘致場所にしてはどうか。
- ・雇用の確保、企業誘致：若者に残ってもらえる雇用創出
- ・大きな会社があって工業団地でもあれば若い人も増えてよい。
- ・市内にドラッグストアや食料品スーパーはたくさんあるが、衣類などを買おうとすると市外に行くことになる。1箇所で済むようにまちづくりを考えてはどうか。  
⇒企業誘致は行っていますが、雇用につながる大手企業からの問い合わせはありません。企業としては、アクセスの便利な所を希望されています。

②観光について

- ・公園の整備を図る。  
⇒随時行っています。

(その他)

- ・歴史ある建物や文化の薫る街並みの整備が必要
- ・特色ある博物館などを建て、観光客の増加を図る。
- ・コスプレ祭りを企画する。
- ・へそマラソンをなくして、PRに力を入れるというのはおかしいのではないか。
- ・まつりごとを多くし、人が多く参加できる機会があればよい。
- ・人と人の交流がたくさんある町になればよい。

③空き家対策について

- ・高嶋町でも空き家が目立っており、市としても対策をもっと進めてほしい。  
⇒対策は講じていますが紹介できる物件が少ない。空き家バンクに登録してください。

④道路、交通について



- ・ J R加古川線（西脇市-谷川間）の今後の動向についてアンテナを高くして情報を得てほしい。  
⇒企画調整課に確認したところ、「県も入って、 J R西日本と協議していく方向ですが、日程や内容はまだ何も決まっていない」とのことです。（企画調整課）
- ・ むすブン予約者が屋外で長時間待っている姿を見かけたが、夏場の熱中症が気になり。  
⇒予約時間に車が到着できるように運行しています。（企画調整課）

#### （その他）

- ・ 国道 175号線バイパスの完成を急いでほしい。道路の停滞が解消しない。
- ・ 南北道路の両方向通行を早期に改善してほしい。郷瀬町方面に行くときなど大きく迂回しなければならない。
- ・ 気軽に使える交通手段が欲しい。（むすブンは事前登録が必要）
- ・ 高齢者の増加で車を運転できる人が減少するため、公共交通を充実してほしい。
- ・ 播織前の交通量の多い交差点には信号機を設置してほしい

#### ⑤介護について

- ・ 少子高齢化が今後ますます進むと思われる。空き家を利用して、高齢者が集まれる場を作ってはどうか。誰もが集まれるように補助金があれば良いのではないか。  
⇒自治協議会または事業者運営していただきたい。

#### ⑥河川愛護

- ・ 地域住民の高齢化で、河川愛護作業の実施も大変になってきている。市が一括して業者委託など、やり方の見直しも必要ではないかと考える（県 500万円、市 1,000万円の補助金）。

#### ⑦その他

- ・ オリナスに高齢者も楽しめるような演歌系歌手も呼んでほしい。  
⇒指定管理者が幅広く文化事業を検討されています。（生涯学習課）
- ・ 3年前のへそまつりの際、へそ公園に向かう人をバスで運び終わっていないのに、花火が終了していた。1日開催への変更もあるため、花火の量を増やすなど、打ち上げの見直しが必要と思う。  
⇒花火は許可時間があり時間変更はできません。例年と同様の打ち上げ数を予定しています。（商工観光課）
- ・ 「へそマラソンの中止」「学校の適正配置」「働く場の確保」などの課題が出てくると、西脇市は今後の活力を何に求めていくのかと感じる。市・議会として目標を示すことが必要  
⇒へそマラソンについては当初予算に計上されていなかったもので、議会としては実行委員会に説明をするように申し入れ、最終的には実行委員会で中止が決定しています。
- ・ 生徒を教えられない教師がいる。教師の質の向上を！

⇒教員の資質向上に向けて、研修会に参加するなど指導力など向上に努めています。  
(学校教育課)

- ・協議費は、他の町に比べると多く、企業が地区に多くあれば入るところが多くなり、各戸の協議費は少なくなると思う。

⇒基本的には町行政で対応してもらおう課題です。

- ・外国人の住みやすさ：外国人にも生活面にわかりやすく支援してもらいたい。

⇒各地区などで実施する人権学習で多文化共生交流を行っています。また、学校では、子ども多文化共生サポーターや多言語相談員を市内小中学校に派遣しています。(学校教育課)

自治会	南本町
開催日時	令和4年5月28日(土) 19:30~21:00
開催場所	南本町公民館
参加人数	男性8人 女性4人 計12人

## ★1部 (議会報告)の意見・提案

特になし

## ★2部 (意見交換会)の意見・提案

### ①西脇市のPRについて

- ・多可町では、神姫バスにラッピングで宣伝をされていて、とても分かりやすい。西脇市は考えないのか。

⇒6月の総務産業常任委員会で取り上げ、議論しました。(3ページ参照)

(その他)

- ・オリナスにスッカシュの場所があるのに利用しているのか、大会などしてはどうか。

### ②交通安全対策について

- ・西脇大橋から神戸ランドリー間の道路が、かなりひび割れをしている。道路状態が悪いので騒音も酷い。

⇒担当課へ報告済

(その他)

- ・南本町を南北に通る道路は、う回路利用をしている人が多く通行量も多い。安全対策を講じてほしい。
- ・「つかり家」から県道に出る所に、横断歩道がほしい。死亡事故も起こっている。
- ・「住吉屋」横の交差点が狭く、拡幅して欲しい。大木を伐採しても良いのではないかという意見もある。
- ・三田警察は、横断歩道で立ち止まっている方を見たら自動車は止まるように厳しく取り締まっている。西脇警察でも厳しくすべきである。
- ・道路の側溝に溝フタなどをして道路幅を広げて歩道を確保してほしい。

- ・やすらぎの道を拡幅するのが良い。

### ③織物まつり・地域産業について

- ・織物まつりがなくなると何のまちになるのか。

### ④人口増対策について

- ・企業誘致を頑張りたい。
- ・特に、IT関連企業や生活関連企業（医療・介護等）の誘致に特化して頑張る必要がある。  
⇒出店希望の企業は高速道路のインターチェンジの近い市を選ぶようです。
- ・工業団地の整備をしてはどうか。
- ・大学生が卒業をした後の働く場所がない。  
⇒企業誘致は行っていますが、雇用につながる企業の問い合わせがありません。
- ・結婚願望のない若者が増えてきている。出会いの場を多くする必要がある。  
⇒総務産業常任委員会で回答（3ページ参照）

### （その他）

- ・子育てのしやすいまちを目指したい。そのために、通勤しやすいように条件整備を行う。教育環境を充実させる。（子どもを西脇小に通わせたいので移住してくる若者がいる。）
- ・地元の若者は、高校卒業後地域とつながりがなくなっている。高校卒業後も地域とのつながりを持つ必要がある。

### ⑤播州織博覧会について

- ・播博を西脇区も協力をしたかった。  
⇒西脇区も協力をしていただきました（デザート販売の店が出店）
- ・播博に行政が関わり、質が悪くなった。
- ・もっと空き家の利用を試みてはどうか。  
⇒店舗として借りられる状態でないところが多いです。
- ・CONCENT（コンセント）が閉まっていた。播博の日こそ開けておくべき。  
⇒コロナ禍でもあり密になるため開けていません。

### ⑥生活のしやすいまちについて

- ・長屋の空き家が増えており、対策を強化したい。火事が心配である。  
⇒長屋はすべての土地の権利者の同意が必要です。相続人が他府県に居住されているところもあり現在調整中です。
- ・空き家に入居対策などして欲しい。空き家が多いので若者に来て欲しい。  
⇒対策は講じていますが、紹介できる家屋が少ないです。空き家バンクに登録してください。

(その他)

- ・西脇区は、買い物がしやすい。童子山公園の整備を行い、住環境を整える必要がある。
- ・西脇市が住みやすいことを、もっとPRする必要がある。

#### ⑦町内会の課題について

- ・コロナで、町行事が中止になり、人のつながりが薄くなっている。今年こそ、祭りや町行事を復活させたい。  
⇒感染対策に留意しながら、夏祭り、秋祭りなど復活していく予定です。(商工観光課)
- ・町内会の横のつながりがなくなっている。  
⇒人と人のつながりは大切なものと考えています。
- ・老人会と子ども会のつながりを意識的に行うことで、保護者世代を巻き込んだつながりができるのではないかと。  
⇒大切な提案と考えています。具体的化に向けて取り組んでいただきたい。

#### ⑧産業について

- ・キャンプなどが流行っているので綿ボコを筒に詰めて火種として売ってはどうか。  
⇒業界団体に伝えて、可能性を検討します。

#### ⑨南本町の良いところ

- ・町内活動が活発で団結力がある。皆仲良し。情に熱い。人がいい。

### ■第4班 担当議員：坂部武美、吉井敏恭、藤原秀樹

自治会	堀町
開催日時	令和4年5月25日(水) 19:30~21:00
開催場所	堀町公民館
参加人数	男性9人 女性0人 計9人

#### ★1部(議会報告)の意見・提案

特になし

#### ★2部(意見交換会)の意見・提案

##### ①食と安全

- ・食から健康を作っていくべき。健康な体が維持できれば、医療費が抑えられる。  
そのような店を市内に誘致すべき。  
⇒食は健幸都市にしわきの基本です。

##### ②ショッピングセンター

- ・ちょっとしゃれた衣類、ブランド物など買える店が市内にはない。神戸や西宮へ買い物に行く。
- ・買い物が不便なので自動車運転免許証の返納ができない。

- ・センターの中に行政の市民サービス部門も入れてほしい。  
⇒昔のようなショッピングモールは期待できない。

### ③日本のへそ西脇夏まつり

- ・スタッフ動員など比延地区の負担が大きい。年齢的にもボランティア活動がしにくくなっている。  
⇒地区から申し入れをしてください。

### ④小中学校学習環境規模適正化

- ・小規模特認校は残すべき。
- ・教育費にもっと予算を付けるべき。  
⇒多様な子どもたちにとっての教育環境をどのように維持するかが大切です。

### ⑤道の駅

- ・人の集まる大きな道の駅などがあれば。丹波市の『おばあちゃんの里』には都会の人たちがわざわざ野菜を買いに来ている。
- ・店の拡充と駐車場が足りない。  
⇒田園空間博物館も課題と認識しています。

### ⑥JR加古川線

- ・谷川までを残すべき。  
⇒市としての課題であり、議会でも議論します。

### ⑦働く場

- ・企業誘致で働く場の確保。若者が勤めたいと思う職業を調べてみては。

### ⑧市政

- ・何かにつけて、行政に「熱が入っていない、感じられない。」

### ⑨クラブ活動

- ・子どもが少ない中で、部活の在り方を見直す時期に来ている。例えば、西中にはサッカークラブがないのでクラブチームに所属し、学校では、違う部活に入っている。
- ・学校外のクラブで子どもを指導している団体に補助すべき。  
⇒国も地域等での対策を考えています。

### ⑩森林整備

- ・矢筈山のPRを積極的に行ってほしい。
- ・城山からのハイキング道の登り口がわからない
- ・西光寺山や角尾山の整備も有志の人が行っている。支援が必要  
⇒矢筈山のPRについては担当課(商工観光課)が西脇10山でも紹介しています。  
城山の入り口表示については、担当課(農村整備課)で検討します。

### ⑪女性に選ばれるまち

- ・市内全体が暗くて、防犯カメラも少ない。明るいうォーキングコースなどあれば、女

性に喜ばれるのではないか。

⇒防犯カメラが町内に必要なら市へ要望してください。

⇒健幸都市の面から、推奨のウォーキングコースを設定しています。

(その他)

- ・女性に選ばれるまちになることが必要。住居地を決めるのに女性が判断する例が多い。
- ・オリナスのヨガ教室には、加西から来る人もあると聞いている。女性を呼べるまちになってほしい。

## ⑫観光資源の活用

- ・「清流のまち」と言いながら、魅力的な河川になっていない。
- ・テニスコートや桜堤などの河川敷の利用は考えられていないのか。  
⇒河川敷は狭いのでテニスコートは取れないが、ウォーキング利用は考えられる。
- ・地元の犬次神社は、起源は古く、「播磨風土記」にも記されており、安産の神様として知られている。市としての観光資源に生かしてほしい。  
⇒ぜひ堀町としてPR等を進めていただきたいです。

自治会	羽安町
開催日時	令和4年5月27日(金) 19:00~20:30
開催場所	羽安町公民館
参加人数	男性8 女性0人 計8人

## ★1部(議会報告)の意見・提案

特になし

## ★2部(意見交換会)の意見・提案

### ①河川の草刈り

- ・年齢的にもしんどい、何とかならないのか。企業に丸投げできる予算があればと思う。地域としてはコミュニティ、人間関係の構築、親睦を深めるなど、まちづくりの面では必要だとも思う。  
⇒各地区からも課題となっており、区長会全体としての検討が必要です。

### ②人・農地プラン、地域における農業の将来のあり方

- ・トラクター1台 700万円、一町以上を耕作しないと採算は合わない。農業機械購入に補助金が欲しい。  
⇒いくつかの補助はあるので、市に相談願いたい。

(その他)

- ・農業の担い手づくりが課題。営農組合に預けるべきなのか、目の前の問題である。
- ・営農組合で、成功しているところのノウハウを学ぶべきである。
- ・もち麦に補助してもらってもたかがしれている

### ③少子化対策

- ・町の人口流出を止めてほしい。結婚すれば若い人たちは、どんどん出ていく。

⇒様々な施策によって、流出は少なくしたい。

(その他)

- ・10年前と現在の人口減少率を踏まえて、10年後を見据えた人口増加対策を取るべき。
- ・消防も今はまだ維持できているが、将来はわからない。
- ・コンビニも中町の方が近いくらい。今は車に乗れるのでいいが。

#### ④学校学習環境規模適正化

- ・夢のある学校教育を考える。
- ・10年後、20年後を見据えて考えるべきであって、既存の学校を利用し、統廃合をしていくなどと中途半端な考えではなく、小中一貫校を新築し市内全域から通学するという思い切ったことをやるべきである。
- ・統廃合で、日野小学校は、西脇小学校と一緒にすると聞いている。それで、日野の子どもたちは、西脇小学校へバスで通学する方向と聞いている。こんなことでは、若い人が日野地区に住もうとは思わないのではないか。また、他町からも選ばれる気がしない。
- ・そもそも日野と西脇が一緒になっても児童数に大きな変化がない。この程度では、いじめ、学力が良くなるかは疑問である。
- ・小さい学校は小さい学校なりの良さがあると思う。
- ・現在の小学校がどのように困っているかはっきりさせてほしい。むしろ中学校の方が、部活などで困っているのではないか？
- ・統廃合の話がでてきたのは、結局はお金の問題だ。子どもにとっての教育とは何かを抜けている。  
⇒地域における小学校のあり方等も踏まえて、さらなる議論が必要です。

#### ⑤新三田駅までのアクセス

- ・道路整備をすることで、大阪など阪神間の企業が通勤圏内になるかもしれない。  
⇒県道西脇篠山線をはじめ、丹波篠山 I C や新三田駅へのアクセスは必要です。

#### ⑥将来ビジョンを持つ

- ・社会資源、少子高齢化、医療費など、その場の対応に追われて、後追いしているようではダメ。将来ビジョン持って進めていくべきである。

#### ⑦居住促進

- ・企業誘致が難しいなら、加東市、小野市に勤めてもらって、西脇市をベッドタウンにすればよい。  
⇒まずは、西脇に住んでいただくことが必要です。

#### ⑧買い物

- ・買い物は市外に行くことが多い。近くにスーパーがないので自動車運転免許証を返納できない。

#### ⑨「むすブン」「めぐリン」

- ・予約の仕方がよくわからない。“むすブン”はこのあたりであまり見かけない。

⇒まずは予約センターへ電話をしてください。

#### ⑩ボランティア活動にごみ袋の提供

- ・町内の道路際などゴミ収集をしている人がいる。市へゴミ袋が欲しいと問い合わせたら、一週間に1枚と決まっているらしく、もっとゴミ袋が欲しい。
- ⇒担当課(施設管理課)は、羽安駅の管理費の中で検討願いたいとのこと。

#### ⑪健康推進

- ・健幸運動教室N i - C oをもっとPRして、多くの市民に参加してもらうことによって、医療費が抑えられるのではないかと。
- ⇒さらなるPRを進めるよう担当課(健康都市推進課)に伝えます。

#### ⑫「西脇市が選ばれる“まち”になるには」

- ・誰を対象としているのか。外から選ばれるのも大切だが、市内在住の若い人に選ばれるようになってほしい。

#### ⑬日野バイパス

- ・羽安の旧駅前草引きは、現在ボランティアで実施している。市から一度も来ていない。
- ・バイパス横の草が伸び放題である。そこへゴミが放置されている。誰が対応してくれるのか。
- ・バイパスがゴミのポイ捨て場になっている。
- ・市原の信号近くでは、見守り隊の人がゴミ袋を持ってきて拾われている。
- ・自転車道路のブルーラインの塗料がはがれている。
- ・自転車も歩道を走っている。
- ・旧羽安駅の水道の栓が閉められている。高校生などが水を飲もうとしているがかわいそうである。あるのなら利用させるべき。
- ⇒水道については協議するとのこと。

#### ⑭旧市役所などの跡地

- ・今後どのように利用されるのかの説明が必要
- ⇒企業誘致に使用します。

#### ⑮西脇のPR活動

- ・織物に偏りすぎていると思う。
- ・「ファッション都市構想で、24人が学び11人程度が居住も含めて残っている」と聞いたが、一般の市民は知らない。PRが下手である。マルマンの前の建物にも人を見かけない。
- ・西脇にはトータス松本さんなど有名人が多くいる。有名人にアピールしてもらえればいいのではないかと。
- ・先日は、丹波で映画館の開設があった。早速、有名な「ドライブ、マイ、カー」を上映していた。
- ・多可町のベルディー公演のように、定期的な公演も必要ではないか。それによって定着してくる。



- ・選ばれるまちになるには何か面白いことがあればいいと思う。

#### ⑩羽安町について

- ・こんなに住みよい所はないと思う。
- ・生活に困ることもない。
- ・近所の仲が良い。
- ・空き家も一件だけである。

自治会	上丘町
開催日時	令和4年5月28日(土) 18:30~19:45
開催場所	八日上丘公民館
参加人数	男性6人 女性4人 計10人

#### ★1部(議会報告)の意見・提案

(日本のへそ西脇子午線マラソン大会の廃止に関連して)

- ・5月22日に開催された「播博」では8,000人の人出となった。歴史があり人出の見込める事業(へそマラソン)を廃止すべきでない。復活を望む  
⇒教育委員会は廃止の考えで、直ちに事業の復活は難しいと考えます。実行委員会等、取り組み方の再考も必要です。復活を望む署名も届けられており、今後の経過を見守ります。

#### ★2部(意見交換会)の意見・提案

##### ①市の花「しばざくら」について

- ・市の花「しばざくら」が植栽されている場所が少ないのではないかと。植栽箇所を増やすなどの取組が必要ではないかと。へそ公園の4本の槍の斜面は。  
⇒6月の文教民生常任委員会に取り上げ、議論しました。(6ページ参照)

##### ②健幸都市「にしわき」の取組について

- ・健幸ポイント、健幸運動教室 Ni-Coの取組は、生活習慣病や認知症を予防し、健康寿命を延伸する効果が見込める。事業の継続を望む。

##### ③個人の所有する「空き家」の撤去費用の補助について

- ・個人の所有する「空き家」の撤去費用について費用の一部を補助できないか  
⇒「空き家」はあくまで個人の財産であり、適正管理を所有者に義務づけています。今のところ費用の一部を補助する考えはないようですが、「空き家」を取壊し、跡地を自治会等において利活用することは可能です。

##### ④自治会において「集う場所づくり」を計画している

- ・自治会において「集う場所づくり」を計画しているが、リフォーム費用などの補助はないのか。  
⇒自治会の交流の場づくりを、ぜひ進めていただきたい。まちづくり課や都市住宅課に相談されたい。宝くじ助成等があると思います。担当課に伝えておきます。

##### ⑤大型ショッピングモールの出店について

- ・以前のようなショッピングセンターは無理なのか。  
⇒大型ショッピングモールの出店については期待できません。

⑥「オリナス」の入り口が分かりにくい

- ・駐車場から直接、「オリナス」に入ることが出来ず不便である。誘導標識が必要  
⇒入口への誘導案内は3箇所あります。国道からの案内標識も上戸田信号上下から庁舎入り口まで誘導しています。

⑦市庁舎に至る誘導標識が少なく分かりにくい

- ・市外から来西される方に分かりやすい誘導標識が必要である。別の原因であるがカーナビを利用して「播博」に来られた方が旧庁舎に誘導されたとのこと。  
⇒175号上戸田信号手前、パルドン角、中兵庫前に誘導標識があります。

⑧コロナ禍でリモートによる働き方が推奨されている。リモートによる働き方を進めている企業を誘致しては。

- ・リモートによる働き方が定着しつつある。このことによる西脇市への定住・移住の状況について質問あり。
- ・リモートによる働き方を進めている企業を対象に誘致活動を展開しては…

⑨学校学習環境規模適正化問題について、西脇小学校の問題について

- ・環境規模適正化の問題について  
⇒環境規模適性化検討委員会での検討内容を説明しました。
- ・西脇小学校が国の重要文化財に指定されたことと今後の取組について  
⇒西脇小学校歴史的建造物保存活動事業の取組を紹介します。保存は行政が行いますが、活用は市民の協力が必要です。

⑩（西脇小学校西側の）一方通行道路について（他地区からの苦情）

- ・他地区で聞いた一方通行道路の苦情について、地元の説明し協力を求める。  
路上駐車が多く見受けられ、通行の妨げとなっている。ルールの厳守をお願いします。

自治会	黒田庄町黒田
開催日時	令和4年6月4日（土） 16：00～19：15
開催場所	黒田公民館
参加人数	男性12人 女性0人 計12人

★1部（議会報告）の意見・提案

特になし

★2部（意見交換会）の意見・提案

①企業誘致・働く場

- ・加西市のような工業団地を新たに西脇市も作れないのか。
- ・若者の雇用につなげる。  
⇒西脇には、加西市のインターチェンジの工業団地50haのような平地がなく厳しい状

況ですが、1.2haくらいの候補地はあり、企業誘致を進めています。空いている土地に市税の緩和処置を行っており、若者やUターン雇用につなげる努力をしています。

## ②空家対策

- ・黒田にも空き家はあるが、黒田は人気があり、市外から移住をして来ていただいている。
- ・空き家バンクに登録してくれることはいいことだが、協議費を払わない人がでてくるのではないかと。このことについてのコーディネーターが必要ではないか。  
⇒空き家購入の際に、不動産会社等に協議費のことも伝えていただくことが必要です。  
⇒最近、移住して来ていただいた、かもめ食堂さんとかに黒田の魅力を聞き地域の活性化に繋がればよいと思います。

## ③農業振興

- ・現代、所有の田んぼを他の人に預けているが、その方が高齢になり数年後委託できなくなった際、田んぼの世話を誰がしてくれるのか心配。市も個人の農家さんにも補助等の施策の検討を。専業農家がない。田畑が段、段になって、平地が少ない。企業が少なくUターンしにくい。  
⇒国もスマート農業を推進しています。黒田には営農組合等があります。一度相談していただき後継者問題を解決してください。  
⇒個々での対応には限界があり、行政に言っても対応できません。町内での話し合いにもとづく「集約化」の方向でしか有効な手立てはないのではないのでしょうか。

## ④選ばれるまち西脇

- ・西脇市のインフラ整備に向け、国、県が投資をしたくなるような、新たなブランド品の開発をすべきである。例えば、淡路のような玉ねぎのブランド化による賑わいを作るべきである。  
⇒西脇市でも金ゴマ、枝豆、イチゴ園等から新たに商品に繋がるような取組をしないとけません。例えば、イチゴであればジャムとかの加工品を。喫茶店でのジャムによる賑わいに繋がるとか。  
⇒市内の映えるスポット、魅力のある場所等をSNSでの発信、有名人の発信・ソフトバンク甲斐野投手、トータス松本さん、森脇京子さん、隅田川馬石さんもいます。

## ⑤JR加古川線廃止には反対

- ・JR加古川線の廃止は、将来にわたり、子どもを育てる上で困る。西脇市としても存続を呼びかけ残して欲しい。また、学生さん用の通学用むすブンを運行してはどうだろう。  
⇒今後、存続の要望は、県、市からも上がると思われます。おっしゃるようにむすブントクシーの空いている時間の使い方も検討の余地があります。  
⇒区長会で加古川線利用アンケートを実施し、通学、通勤に影響するかが必要。自転車を乗せることも一つです。

## ⑥子どもの教育

- ・小学校から金融に関する勉強カリキュラムを入れて学ばせてあげて欲しい。そうす

ることで、学校を卒業した際、自分で事業を立上げようと思う子どもが増える。また、若い世代が、事業立ち上げの際は、西脇市としても事業立上げ融資支援制度を作って欲しい。

⇒文部科学省の教育カリキュラムがあるため、義務教育としては、取り上げることはできないかもしれませんが、オープンキャンパスとして市として開催することは可能です。

#### ⑦道路のアクセスの改善

・町内の県道、堤防の道路を拡幅整備して欲しい。

⇒町内の話し合いによって地権者の協力が得られることが大前提です。県道西脇篠山線の拡幅工事でも地権者の協力が十分に得られないことにより、待避所の設置に終わっています。

#### ⑧街灯が少ない

・街灯が少ない

⇒町内で話し合い、市に要望してください。

#### ⑨地場産業のあり方

・播州織にこだわりすぎでは。

⇒播州織業界の低迷と他の産業への転換の必要性は誰もが認識していますが、有効な手立ての方向性はまだ打っていません。

#### ⑩若い人たちに手厚い施策を

・(年寄りよりも)若い人に手厚く…子育て等、若い人達に手厚い施策を実施すべき。

⇒子育て世代への支援は、高校生までの医療費無料など、十分ではないかもしれませんが支援しています。

#### ⑪鹿の駆除

・鹿被害が多発している。

⇒柵の設置は済んでいるので、あとは個々の対策しかないです。

### ■第5班 担当議員：東野敏弘、高瀬 洋、岸本年裕

自治会	出会町
開催日時	令和4年5月14日(土) 19:30~21:00
開催場所	出会町集落センター
参加人数	男性9人 女性1人 計10人

### ★1部 (議会報告)の意見・提案

(へそマラソンについて)

・日本のへそ西脇子午線マラソン大会の廃止と(令和3年7月の)西脇市教育委員会の課長による着服事件と資金面で関連しているのか。

⇒マラソンの廃止と着服事件に関連はありません。

(その他)

- ・不祥事が発生した場合は、氏名を公表する等、厳正な対処を望む。

(橋の強度点検について)

- ・出会町には、5つの橋があり、橋には上下水道管が張り付いている。橋には迂回路がなく、万が一の場合は、生活が成り立たない。特に橋の強度についての点検をお願いしたい。  
⇒市道橋については、5年に一度の橋梁点検を行っており、現在のところ出合町の橋梁の異常は見当たりません。点検時異常があれば、補修します。(施設管理課)

## ★2部 (意見交換会) の意見・提案

### ①防犯カメラの設置について

- ・出会町では2箇所に防犯カメラが必要と考えている。設置する場合の補助金等はどうか。  
⇒防犯カメラ設置の要望書を出会町として出していただきたい。費用負担は、県6万円、市8万円、残額地元負担となります。(防災安全課)

### ②学習環境規模適正化に伴う学校統廃合について

- ・出会町の現状 小学生=3人、中学生=1人  
芳田小学校まで片道5km・通学時間は1時間
- ・特色ある学校が必要
- ・重小に統合されれば歩いていくのか 今も4km近く歩いて行っている。  
⇒4km以上の距離がある場合、通学バスが出る計画です。  
⇒検討委員会で検討中の事案です。7月に答申の予定であり具体的な意見・要望は、その後のこととなります。

(その他)

- ・小中一貫校も必要ではないか
- ・小学校がなくなれば、子どものいる家庭は芳田を選ばない

### ③市街化調整区域の問題について

- ・市街化調整区域であることを特に問題視していない。市街化調整区域であったことにより自然が守られてきたとの思いもある。

### ④JR加古川線の問題について

- ⇒JR西日本が県内の4路線について、初めて収支を公開し、存廃を含めた議論に踏み出しました。現時点での決定事項はありません。

### ⑤むすブンの利用について

- ・出会町では「むすブン」(車両)を見かけない。家族による送迎が見込まれる。
- ・高齢者が多いが出会町はむすブンの利用が少ない。車利用がほとんどのため。

### ⑥空き家について

- ・危険空き家等の該当はない。町内にある空き家は「空き家バンク」に登録している。

### ⑦市道整備

- ・う回路がないため、農道を利用する必要がある。農道に舗装をしてほしい。  
⇒農道の舗装については、町から要望を出してください。

(その他)

- ・路側線が消えかかっているのので、路側線を書き直していただきたい。

### ⑧カーブミラーの新設について

- ・出会町にベリーベリーファーム西脇があり、町外からの来所者も多く、慣れない道路の運転で、カーブも多く、事故防止のためカーブミラーの設置が必要である。要望を提出したが「危険度が低い」との判断で実現に至っていない。事故が発生しないと実現しないのか。  
⇒カーブミラーの設置は、地元要望が多いので、地元で優先順位をつけてください。  
その上で、危険度の高い順に設置させていただきます。(防災安全課)

### ⑨新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた水道料金の免除について

- ・令和2年6月検針分から11月検針分までの水道料金を免除したが、水道を引き込んでいない者には減免の恩恵が届いていない。水道を引き込んでいない者への考慮も必要ではないのか。

### ⑩働く場の確保を！

- ・敷地が狭い面積でも来る企業もあるのではないのか。
- ・出会町に候補地があれば協力する。
- ・空き家利用も含めてリモートによる企業の誘致を考えるべきではないのか。
- ・播州織に特化し、播州織を支援しすぎてきた結果ではないのか。

### ⑪キャンプ場

- ・ごみを捨てて帰る人があり、困っている。  
⇒担当課に連絡をしました。これまでから対応してきているが、さらに強化して対応したいとのことでした。(青少年センター)

自治会	黒田庄町前坂
開催日時	令和4年5月20日(金) 19:30~21:00
開催場所	前坂集会所
参加人数	男性7人 女性0人 計7人

### ★1部(議会報告)の意見・提案

特になし

### ★2部(意見交換会)の意見・提案

#### ①集落の維持について

- ・少子高齢化、人口減少で隣保の合併が必要となっていており、今後は心配である。

- ・前坂の世帯数は約 220軒。内、子どものいる世帯は、18世帯で28人である。一方、65歳以上が 220人
- ・若者に定住してもらえる施策を考えてほしい。Uターン、Iターンしたくなる魅力ある西脇市をつかってほしい。
- ・空き家対策が必要とは思いますが、誰でも良いとは思わない。定住してもらえる方を望む。
- ・南池の改修を国や県の補助で実施してほしい。
- ・道路が狭く大型バスも通行できるぐらいの整備を要望したい。
- ・地籍調査に早く取り組みたい。

## ②森林整備について

- ・鹿柵の維持が困難である。里山整備も必要であるが、現状は放置状態である。
- ・バッファゾーンの整備を考えている。

## ③若者の働く場が無い

- ・長年、播州織に頼ってきたが、新たな企業誘致（雇用）を考えてほしい。
- ・企業誘致が難しいなら、三田、大阪方面に仕事で通勤できるように考えてみるのはどうか、例えば『むすブン』を谷川駅までのルート変更の検討（丹波市と共同運行）
- ・新三田駅まで直行バス運行の検討してほしい。
- ・通勤時間が2時間以内なら通う者もいると思う、企業の通勤手当とは別に、西脇市としても通勤手当を支給してはどうか。

## ④前坂の農業を考える

- ・農業法人を立ち上げたいが、なかなか前に進んでいない。
- ・農業用パイプラインの老朽化してきている。
- ・ライスセンターの運営が人手不足で困難になっている。
- ・大規模農家であっても営農では食べていけない。もち麦や大豆の買取金額の検討
- ・前坂の地場産業は田んぼ、企業なら倒産である。

## ⑤その他

- ・生涯学習に関連して、部落差別解消推進法を議員提案で行ってほしい。近隣の他市他町では作られている。

自治会	大野
開催日時	令和4年5月24日（土） 19：30～21：00
開催場所	大野隣保館
参加人数	男性10人 女性2人 計12人

### ★1部（議会報告）の意見・提案

特になし

### ★2部（意見交換会）の意見・提案（東野組）

#### ①バイパスの開通を機に土地の有効活用を

- ・令和8年、バイパスの開通を機に津万平野（農地）の有効活用が提案された。周辺整

備による企業用地としての使途も提案されたが、先人から引き継いだ田として耕作することの意欲も示された。

- ・事業を計画しても金銭的な負担が伴うものは受け入れ難い。津万平野（農地）は平坦であることから耕作効率を向上させる方法として「畔切」が有効と考える。
- ・「パイプライン」についてのアンケート調査が2年前に実施されたが、結果が知らされていない。  
⇒西脇土地改良区に連絡しました。アンケート結果はすでに出されているとのことでした。（農村整備課）

## ②外国人のマナー違反について

- ・アパートに入居している外国人のマナー（大声で話す、ゴミ出し）違反について  
⇒6月の文教民生常任委員会で取り上げ、議論しました。（6ページ参照）

## ③空き家について

- ・大野では、所有者において適切に管理されている。特定空家の候補は存しない。

## ④働く場所（企業誘致）について

- ・正規社員として働く場所の確保が必要である。

## ⑤企業誘致や子育て支援に関して

- ・西脇市は加東市や小野市と比べて広い土地がなく、インターチェンジからも離れているので企業誘致は不利と思う。近隣の町へ通勤できるベットタウンを目指すべきと思う。
- ・子ども出産一時金額を出せばいいのではないかと思う。明石市などを参考に考えて欲しい。

## ⑥公共交通面に関して

- ・神姫バスの便が減便されたり、柏原～西脇間のように廃止されてりしているので復活を希望している。  
⇒西脇市で運行している公共交通は市外への運行はできません。神姫バスは民間企業なので利用状況で減便や廃止されたりするので、復活は難しいです。

## ⑦にしわきに魅力を感じない。PRが足りない

- ・八千代のマイスターのように、食をテーマにアピールすればどうか。  
⇒6月の総務産業常任委員会で取り上げ、議論しました。（3ページ参照）
- ・ショッピングセンターがなく、人が西脇市へ移住してこないのではないか。
- ・播州織は、PR不足ではないか。
- ・ローストビーフ高すぎる。

## ⑧犬のふん

- ・糞の後始末しない人があり困っている。町で呼びかけをするので、市としても広報等で呼びかけてほしい。

## ⑨交通安全



- ・大野～八日～上丘の西小西側通学道路では、駐車している車が道路にはみ出している。学校は確認しているのか、疑問である。  
⇒区長会でも呼びかけていただき、学校や市交通担当にも伝えます。

#### ⑩道の駅

- ・駐車場が少ない  
⇒道の駅（田空）も増やす努力をしていますが、用地の確保が難しいようです。大きなイベントの際には、やすらぎ苑の駐車場を借りています。

#### ⑪まつり・イベント

- ・今年もあじさい祭りは中止が決まっている。西脇市は、まつりやイベントの中止が多すぎるのではないか。  
⇒コロナ感染予防のためですが、受け止めておきます。
- ・へそマラソンを廃止したのも良くなかったと思う。  
⇒これはコロナ感染予防とは関係ありませんが、他の自治会でも再開を求める声もあります。大野でもあったと報告します。
- ・あじさい祭りの時などは、観光バスで多くの観光客が来てくれるが、アピカ以外で50人会食できるような場所が欲しい。現状はあじさいを見て篠山方面に流れて、食事や買い物は篠山でというパターンが多いように思う。  
⇒せっかく西脇に来ていただいても食事や買い物でお金が落ちないという例は他にもあります。議会でも課題として捉えています。

#### ⑫住みやすいまち

- ・人権の条例を行い、人権のまちをアピールする。
- ・外国人でも住みやすいまちにする。
- ・ママ友が作りやすい環境を作る。
- ・観音寺～西林寺までの登山道の整備を行う。

自治会	和田町
開催日時	令和4年5月27日（金） 19：30～21：00
開催場所	和田町公民館
参加人数	男性14人 女性0人 計14人

#### ★1部（議会報告）の意見・提案

##### （タブレットについて）

- ・学校で貸与されたタブレットは自宅でも使えるのか、その場合閲覧できる範囲はどうなっているのか。またタブレット内にある内容が拡散する恐れはないのか。  
⇒閲覧できる範囲は制限が設けてあります。タブレット内には授業内容的なものばかりで、個人の秘密的なものは含まれていません。

##### （奨学金について）

- ・奨学資金の貸与はなくなるが、回収はどうか。  
⇒現在滞納している人もおられますが、回収のため努力しています。滞納金額は、約800万円です。（教育総務課）

### (保育士の処遇改善について)

- ・保育士の賃金改善は良いことだが、急なことであり現場ではその対応に苦慮した。もっと事前に対応できるような配慮をしてほしい。  
⇒理事者に伝えます。

### (バス交通について)

- ・むすブンなどは今の台数で大丈夫なのか。  
⇒現在は5台で、今年度は5台で運行する予定です。利用する人が多くなっているため、来年度以降台数が増えると思われます。

### (しばざくら幼稚園閉園について)

- ・しばざくら幼稚園閉園後の予定は。  
⇒幼児教育センターとして残り、引き続き就学前教育をサポートしていきます。

### (双葉小学校について)

- ・双葉小学校の統廃合は。学校の統廃合はどうか。  
⇒まだ決定ではないですが、統廃合となる予定と聞いています。検討委員会の最終答申が、7月に出される予定です。

## ★2部(意見交換会)の意見・提案

### ①経済関係、企業誘致等について

- ・働く場所が近隣の市と比べて少ない。
- ・ICT関連企業を西脇市内に呼び込むため、通信環境を整えてはどうか。
- ・大きな工業団地の話はないのか。高松町の山を切り開くくらいの思い切ったことが必要ではないのか。
- ・西脇で育ち大学を出るとそのまま西脇を出てしまっていて、人口が減る一方である。
- ・かつての西脇市は、夜間人口より昼間人口の方が多かったが、今はそうでないように感じるため、働く場所の確保が必要である。

### ②道路関係について

- ・道路の悪い個所が多い。山下自転車店の三差路、タイコーテープ前の道路はマンホールが陥没している。  
⇒和田町内の道路であれば、自治会を通じて市(施設管理課)へ要望してください。  
現在、マンホール付近の陥没や軽微な道路補修については、要望があれば担当課が現場確認を行い補修しています。(施設管理課)

### (その他)

- ・消防車が入れない道路が多くある。

### ③住みやすいまちづくり

- ・西脇市が安価で済みやすいベッドタウンを標榜してまちづくりをする。
- ・住みやすい土地を開き、家を建てて若い人が入る。
- ・自然の良さを打ちだしたまちづくり

- ・市役所跡地に大きな公園を造る。
- ・和田町に大きな公園を作る。
- ・若い人が住みやすいまちにするため、若い人向きの施策を積極的に行う。
- ・女性目線の事業を進める。
- ・一軒家を持ちやすい環境整備を進める。
- ・利便性のある地域をつくる。
- ・人口を増やすことを考える。
- ・10年先を見据えた事業を検討する。
- ・西脇市をベッドタウンとして位置付ける。
- ・若い人が遅くまで集まって話をし、にぎわいある場所をつくる。

#### ④観光について

- ・スポーツで西脇市をPRできるようにする。
- ・キャンプ人口が増えており、キャンプ場をたくさんつくる。
- ・和田町内にある「おやま」から矢筈山へのコースをつくる。
- ・ちょっとした登山ができるコースをつくる。
- ・スポーツで西脇市をPRできるようにする。

#### ⑤公共交通について

- ・北播磨総合医療センターまでの交通手段  
西脇病院にない診療科の場合、北播磨総合医療センターに行くことがあり、例えば西脇病院と北播磨総合医療センターを直接結ぶバス運行などができないか。(JRや神姫バスを使うと乗換えが必要で、高齢者の交通手段としては乗換えが負担)
- ・市外に出るための公共交通が弱いと感じる。  
例：大阪空港への直行バスがない、滝野社インター止まりの高速バスなど西脇とのアクセスが悪くなってきているように感じる。
- ・観光客を引き込むためにも公共交通は重要
- ・西脇から相野(三田市)までをJRでつなぐと大阪に行くのに便利になるはず。それくらいのアクションは起こせないのか。

#### ⑥防災ポンプについて

- ・2004年台風で浸水被害があったため、常にポンプの点検をお願いする。

#### ⑦学校規模適正化について

- ・検討状況について、急に学校数の話になり、結論が統合ありきのように見える。

#### ⑧災害廃棄物処理について

- ・火災現場の廃材は、近隣市では無料で処分できるのに、西脇市では処分させてもらえないのは納得がいかない。  
⇒みどり園によると、火災による廃材の分別をしていただき、減免申請があれば、無償で受け入れますとのことでした。(みどり園)

#### ⑨その他

- ・1,000㎡未満の住宅分譲は開発許可を受ける必要がなく、ごみステーションの設置義務

務がないため、町として困っている。どうにかならないのか。

⇒ 1,000㎡未満の住宅分譲に対しては開発許可を受ける必要がないため、市行政として指導はできていない。アパートであれば、オーナー（管理者）に対して、ごみ処理についての指導は行っています。（都市住宅課）

- ・カーブミラーの設置要望は1市道×市道、2市道×町道、3町道×町道といった優先順位があり、町道にカーブミラーを要望しても後回しにされ、順番が回ってこない。  
⇒カーブミラーの設置要望は多いので、町内での優先順位をつけてもらいたい。町の意向に反する設置はしないとのことです。（防災安全課）

- ・南本町と隣接しており、どう考えても重春小学校の方が近く、子ども会も和田町に入会しておられたのに、西脇小学校に通わざるを得なく、子ども会も辞められたご家庭が何軒かあるが、どうにかならないのか。

⇒この問題については、当該の保護者の意見を聞き、南本町と和田町の区長が話し合い決着されたと聞いています。

- ・鍛冶屋線廃止時その跡（アピカ前～西脇大橋付近まで）に道路計画があったが、今どのようなになっているか。

⇒アピカ前～西脇大橋までは都市計画道路として認定されています。ただ、現在、西脇市は東西道路、南北道路の整備が優先されています。（都市住宅課）

自治会	オンライン
開催日時	令和4年5月31（火） 19：00～20：30
開催場所	参加者自宅（議員は委員会室他）
参加者	男性 3人 女性 2人 計 5人

### ★1部（議会報告）の意見・提案

- ・へそマラソンはなぜ廃止となったのか。

⇒大会開催における担い手の負担が大きく、支えていけなくなってきました。

サポートをする市の職員も日々の業務が多忙を極めており、また、コース周辺の方からの苦情等もあります。

### ★2部（議会報告）の意見・提案

- ・5Gのネットワーク環境の設定が必要である。
- ・オリナス・ドウジアム・西脇病院等にWi-Fi環境を整備してほしい。  
⇒6月の総務産業常任委員会での取り上げ、議論しました。（5ページ参照）
- ・西脇と言えばマラソン（駅伝）が強いという事で有名である。新たな組織で、新たに予算付けをして再スタートをしてもらいたい。
- ・働くところ（工場系）が少ない。
- ・子どものなりたい業種のNO1がユーチューバーの時代に、工場系の企業で働きたい人は少ない。
- ・製造業で働く（きたい）人は少なくなっている。フレックス的な職場であるユニクロやマクドナルドの存在は西脇市にとって大きい。
- ・最近の製造業はロボット活用などで非常にきれいである。AIの進化により人間の仕事なくなっていると言われているが、検査部門などまだまだ需要は十分にある。3K・4Kではなく、先進の工場誘致を望む。
- ・公立大学を誘致・設立してほしい。（兵庫教育大のような単科大学ではなく、総合大学を。）

- ・少子化の時代の中、大学の誘致・設立は厳しいと思う。
- ・地方での大学誘致・設立の成功例として、立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）があるが、この事例からも、有名大学の誘致でないとやはり厳しいと思う。
- ・かつて教師として進路指導の担当をしていたが、新しく大学を設立・誘致は不可能だと考える。しかしその反面、看護・介護等、医療福祉系の専門学校であれば十分にニーズがあると思う。
- ・20～30代の若者の流出が続けば、西脇市は衰退する一方である。それを解消するために、交通インフラを整備して、通勤通学の時間を短縮する。神姫バスと交渉し、西脇から三宮までの直行でバスを走らせる。（まずは実験的にでもいいので）
- ・市が通勤手当を出せばいいという意見もあるが、これは各企業がすべきことである。
- ・JR加古川線（谷川線）が廃止になりそうだと聞くが、大阪までの通勤通学のインフラを整備し、時間短縮による利便性の高いものとしてもらいたい。
- ・元教師であるが、少人数教育はコスト高ではあるが相当効果がある。西脇市が進めようとしている学校統廃合（少人数教育の良さがなくなる）に対して相当危機感を持っている。西脇が独自の少人数教育で戦うのならば、勝ち組になれると思う。
- ・少人数教育の人数はおおむね20人以下である。国策として1学年2学級にこだわっているようだが、それにこだわる必要はない。
- ・少人数教育を維持していくためにはコストが相当かかる。
- ・双葉小学校の存続を望む。教員の不足という問題があるが、教員数の減少は、労働時間の長さや給与の低さが原因である。
- ・基本的には近隣の小学校に通うものとするが、希望者に対しては校区を廃止して、大規模校・小規模校の選択ができるようにすればいい。
- ・越境入学を制度として認めればいい。
- ・中島みゆき「糸」  
縦の糸はあなた 横の糸は私  
織りなす布は いつか誰かを・・・  
オリナスで中島みゆきさんのコンサートを開催してほしい！

## 第19回 議会報告会「議会と語ろう会」アンケート調査結果

- 対象 19自治会＋1（オンライン）  
 ○回答人数 男性：196人 女性：33人 合計 229人  
 ○年齢別 20代：0人 30代：3人 40代：11人 50代：51人  
 60代：100人 70代：40人 80代：16人 その他：8人

※未回答もあるため、各設問の合計が人数と合わないことがあります。

### Q1 議会をご覧になったことがありますか

1	本会議を傍聴したことがある	36
2	インターネット中継を見たことがある	26
3	傍聴もインターネット中継も両方見たことがある	10
4	両方見たことがない	160

### Q2 今回の議会報告会を何で知りましたか

1	議会報告会のチラシ	95
2	市議会ホームページ	14
3	防災行政無線	23
4	フェイスブック	2
5	その他	104

### Q3 議会報告について

1	良かったと思う	166
2	もっと工夫が必要	47
3	そもそも必要がない	2
4	その他	6

### Q4 意見交換の部についてお尋ねいたします

1	活発な意見交換ができて良かった	125
2	もっと議論を深めたいと思った	45
3	意見交換が議会にどう活かされるのか興味を持った	64
4	低調な議論だった	8

### Q5 自治会単位での報告会開催について

1	良かったと思う	164
2	もっと工夫が必要	38
3	そもそも必要ない	7

Q 6 議会だよりを読んでいますか

1	いつも読んでいる	7 9
2	ときどき読んでいる	1 2 9
3	全く読んでいない	1 7

Q 7 興味のある記事はどれですか

1	一般質問	7 0
2	賛成反対討論	5 3
3	委員会報告	5 0
4	まちの声	6 5
5	その他	1 2

Q 8 59号から横書きの議会だよりになりましたが、いかがですか

1	読みやすい	1 7 1
2	読みづらい	1 4
3	その他	2 2

Q 9 読んでいない方は読んでいない理由をお聞かせください

1	議会に興味が無いので	2 0
2	読みづらいので	1 3
3	記事がつまらない	5
4	その他	1 7

<感想・意見>

第1班

- ・高田井町は住みよい町だと思います。
- ・聞くだけではなくて、みんなと話しが出来て良かったのではないかと思います。
- ・大変良かった。
- ・桂造議員のはっきりした説明が分かりやすかった。市長も見習うべきだ！  
へそマラソンの質問で、寺北議員の答弁が良かった。
- ・個人の意見に時間かけすぎ。

第2班

- ・意見を言う機会もあり良かったです。
- ・多くの住民が参加できるよう工夫していただきたいです。
- ・初めて参加させて頂きました。多くの人が集まれば良い意見、知恵もでると思います。  
画期的に良くなることは難しいと思います。地道な活動として継続して下さい。
- ・いろいろな意見が出て、良かったと思う。
- ・西脇を色々な面で住みやすい地域にしてほしい。
- ・本気で織物関係者と未来について考える。

### 第3班

- ・西脇はふる里として良いまちであってほしい。
- ・本日はありがとうございました。
- ・郷瀬町でもやってほしかった。
- ・より良い西脇市になりますようお願いします。
- ・来てよかったです。
- ・今回の話し合いは良かったと思います、これからも時々あっても良いと思います。
- ・議題が大きすぎて…
- ・議会と語ろう会は非常に良い取組だと思う、議員の方は大変だと思うがもっと接点を作っていたきたい。
- ・頑張ってください。
- ・南本町という小さな範囲での話し合いは良かったと思います。西脇地区単位だと人が多くて、きたんのない意見が出せないのが良かったと思います。

### 第4班

- ・議会だよりや話し合いも大切だが、議員の活動が大切。市が益々発展する活動を期待
- ・若い人が喜んで住む市になるための工夫を
- ・市長や周りの人の市を魅力的にする熱意が低すぎる。
- ・西脇市を考える機会が持てた。
- ・議会だよりの字が小さすぎ
- ・報告会で知らなかったことも聞いた。
- ・様々な意見を市民の代表として反映することを期待する。
- ・いろんな意見が聞けて良かった。
- ・堅苦しいと思っていたが話しやすかった。
- ・町単位の報告会が良い。
- ・初めて参加したが良かった。

### 第5班

- ・議員一人一人がどのような西脇市にするか、ビジョンをもって議会活動をしてほしいです。
- ・自治会単位では、参加者が少なくて申し訳ないと思いました。
- ・もっと深めたいこともありました。

### オンライン参加者

- ・どなたかの御発言通り、地域の話題以上の話がしやすい形だと思いました。班分けが必要になるくらい大規模なものにしたら良いと思います。このような場も、人数が多くなればなるほど異なった物事の見方が出てきます。重要な場になっていけたら良いと思います。
- ・オンライン参加は2回目ですが、参加者の方からの意見が聞けるのがとてもいいです。地区ではきっと聞けない内容も多いのではないのでしょうか。みんなで集まってワークショップもとてもいいと思います。ワークショップは合意形成には向いていますが、その場の空気を読んで気おくれしたり遠慮したりすることもあります。近所の方同士だと言えないこともあります。オンラインもじわじわと増えていけばいいなと思います。ゆっ



くりと浸透していくのではないのでしょうか。

- ・西脇市駅のみどりの窓口が3月に閉鎖になり、代わりにみどりの券売機を導入されましたが、このみどりの券売機は、学割の乗車券は買えないし、切符の払い戻しもできません。(払い戻しする場合は谷川駅のみどりの窓口に行くしかない。) みどりの券売機プラスというのがあるのですが、こちらは、学割使えたり、払い戻しもできます。兵庫県で、このみどりの券売機だけしか置いていない有人駅は、西脇市駅だけです。市の方からもJRに対して置き換えの要望を出して欲しいです。
  - ・お世話になりました。議論しやすい雰囲気をつくっていただいたので、意見が言いやすかったです。最後に、なんだか高齢の方への愚痴みたいな意見になってしまいました。西脇市のここがよくなればなあと思うところは、閉鎖的で保守的なところ。もう価値観のところはどうしようもないところなので、そこはいいのですが、自分たちの時代はこうだった、というのはちょっと置いといて、今の時代にあったやり方を世代を超えて一緒に考えていけたらいいのになと日々感じています。そして、今をどうしたいかよりも、子どもたちにどんな西脇市を残したいのか・残せるのかを私は優先したいです。それが最終的に西脇市に住む「価値」を高めてくれそうな気がしています。
- 同じ市民であっても、普段は、絶対、会うこともないような方の意見などがきけ、改めてオンラインの良さを感じています。ぜひ続けてください。
- 議会と聞くと、難しい印象があるので、参加者の感想などをのせると、ちょっとはイメージを浮かべてもらいやすいかもしれませんね。とにかく、この良さをもっとたくさんの方に知ってもらいたいです！最後に、Google アンケートフォーム、回答しやすいです！ありがとうございます。長々とすみません。今後ともよろしくお願いします。
- ・議会報告、良かったと思います。とりあえずベッドタウンシティー案は、安易かと思いますが、永続的に住民（西脇市の人口）増には、繋がっていかないと思います。勤務地が、隣接市町村ならまだしも、通勤時間一時間強となると、無理かと思います。知人でも、遠方通勤者の大半は、公職の方が多いです。

## 西 脇 市 議 会

### ◆西脇市議会HP

<http://www.city.nishiwaki.lg.jp/kakukanogoannai/gikaijimukyoku/indexhtml>

### ◆西脇市議会フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/nishiwakigikai>

### ◆西脇市議会事務局

〒677-8511

西脇市下戸田 128番地の1

TEL : 0795 (22) 3111 内線2132

FAX : 0795 (22) 4301

Mail:gikai@city.nishiwaki.lg.jp